人類とダークネスの戦いは
人類の敗北に終わった

我先に寝返った男たちには
捕らえたメスを与え
それを見せつけることで
より多くの裏切りを誘発し

寝返った女に関しては
比較的マシな生活が保障された

それでも抗おうとする人間に対しては
かつて正義の味方だった
ピュアスターが派遣され
魔法少女と激突するのだった

それはもう人類と怪物の戦いではなく
人類同士の戦いとなっていた

そんな中俺は捕らえられた
一団の中にいた

戦っていたわけではないけど
すぐに降伏しなかったから
敵という扱いだ…

まだ若い母さんには
男たちが群がって
連れていかれた…

んっ…

抵抗しちゃダメよ…
すぐに帰ってくるからね

さんざん見てきたんだ…
何をされるかは見当がつく…

その日…母さんは帰ってこなかった


次の日俺は検査室に連れていかれた
適性検査を行うことで
今後の役割を決めるらしい…
装置につながれた俺は
強烈な眠気に襲われ
意識を失った
んあ～…
そして目を覚ました時には
ピュアスターになっていた
悪名高い裏切り者の戦士
つまり俺は怪物に飼われて
人間と戦わなくちゃ
いけなくなったってことだ…
あぁ…クソ…
どうすればいいんだ…
『ピュアスター』
複雑な感情が入り混じって
考えがまとまらない
母さんに相談したいけど
きっと同じような目にあってる…
ガチャ
心配しながら部屋に戻ると
母さんが帰ってきていた
ドアン!!
イクト!


そこにいたのは母さんだけど
母さんじゃなかった…
ボディーラインが見えて…
乳首が…浮き出ていた
とくん
とくん
お風呂に入った後なのか…
どこか赤みがかっていて
嗅いだことない甘い匂いがして…
大丈夫だった…？
変なことはされなかった？
とくん
親なのについ目をそらしてしまう
そもそも俺は今ピュアスターで
見た目が違うのになんでわかったのか
親なんだから当然でしょ
うれしかったけど…
その瞳は少し怪しい光を
放ってるような気がした…
ぱふっ
それからお互いに事情を話した
母さんの話は色々
はぐらかされたけど
スリ
スリ
俺に関して母さんは
見た目からも状況を察していて
これからどんなことをやっても
味方だからと励ましてくれた
この力で連中を
ぶっ飛ばせればいいのに…


可愛い女の子でいっぱい…
みんなソワソワしてるし
多分緊張してるのは
俺だけじゃないんだ
ドキ
でもここにいる奴って
みんな男なんだよな…
本物の魔法少女っているのか…？
なんか…話しかけにくい…
ドキ
ドキ
ドキ


集まっているな
チンカスの新兵ども
私が今日から貴様らの教育を担当する
『ピュアバイオレンス』だ
お前たちの中には
自分がピュアスターになったと
勘違いしている者もいるだろうが
それは違う
貴様たちは現在
最低のチンカスクラスだ
名前もない
ドキ
ドキ
ドキ
来た…ッ


ピュアスターとはダークネス様の
子を孕むことが出来る価値ある存在
貴様たちはまだ
卵にすらなれない末端の構成員
反抗的人類のガキどもだ
今のお前たちは使えないチンカスだが
ここでは少しはマシなマンカスに
なれるように教育してやる
『ピュアスター』
元々は対ダークネス用として
魔法少女の卵子を使って変身する男性をさす名称
最終的に女の子になってしまうデメリットもあるが
子供は作れない為前大戦で重宝された
しかし裏切り者の手により肉体改造の技術が確立
複数のピュアスターが孕み袋となり離反
今では裏切り者の代名詞となっている
人類側は区別するためにダークスターと
呼んでいた時期もあるが浸透はしていない


とはいえ貴様たちに知性は求めていない
お前たちは――
うわ…こっちに来た…
うっ…すごい
いい匂いがする…
なんでみんなこんなに…
今チンコがあったら
大変なことになってた…っ
でもこの人も…敵…なんだよな
ドキ
ドキ
むわっ


おい！貴様！私の話を聞いているのか！
あッ！すいません！
やべッ！胸ばかり見てたッ
いい度胸だな…先ほどから私の胸ばかり見て興奮でもしているのか
い…いえ！違います！


近い近い…
貴様は…登録番号チンカス931なるほど…先日入ってきた訳アリ…か
ん…？
チン…ッ！？
なんだ？不満か？
そうだ！それがお前のそしてお前たちの名前だ
ここでは貴様らのこれまでの名前は使わないし興味もない
階級が上がらない限りずっとそのままだ
上官に対し反抗的な態度も口答えも許さないましてや性的な目で見るなどと…
チンカスクラスに許されることではないな
ケツをこちらに向けろ！私が直々に指導してやる
プリン
尻叩きでもする気か…？


そわわ
力を入れたら
折れてしまいそうな
腰つきだな
だが…お尻は柔らかく
私を押し返してくる…♡
スリスリ
ふぁ…ッ♡！
なんだこの状況は！？
なんか想像していたのと
全然違うぞ…？


そわわ
ハニートラップで俺たちをいいように操るつもりか…
クソぉ……でも母さんを守れるならもうこちら側でも…
そもそもまだダークネスにすら会ってないし…
ここは人間が管理している施設らしいけど…


うぎいいっ!!?
体にっ…!?
お…お尻から
棒が突き刺さって
内臓を押し上げてるっ!?
アナルファックだ!!
何を期待したのか
知らないが
貴様たちの存在理由は
役に立つかどうか…
それだけだ


苦しい…ッ！
異物が……ッ
ぶちゅ
貴様たちのために用意した
デカさしか取り柄がない
合成魔獣だ！
ば…バイオレンス様ッ！
ぶちゅ
ぶちゅ
ぶちゅ
ぶちゅ
まさか気持ちよくして
貰おうとか思っているのか
新人はまずは自分の立場を
覚えるところからだ


ダークネス様に全てを捧げて働く食用家畜！
おらッ！鳴け！貴様は家畜だ！
ひ…ひひぃん！
ぶちゅ
ぶちゅ
馬だと！？貴様は豚だろうが！まだ私の前で調子に乗る気か！
ぶ…ブヒいいいい！！
どにゃ
どにゃ
どにゃ
ぶちゅ


ドリルッ
ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ
お尻がッ！壊されるッ！
これ絶対に元に戻らない！！
ドリルで穴を開けられるみたいにッ
深くまでねじ込まれてッ！
ガバガバになるぅッッ！！


ゴゼェェ!!
んぐぉおおお!?
ホースから
水を注ぎ込まれる
みたいにッッ!!?
腹の中にッ!
マズイッ!
破裂するッ!!?

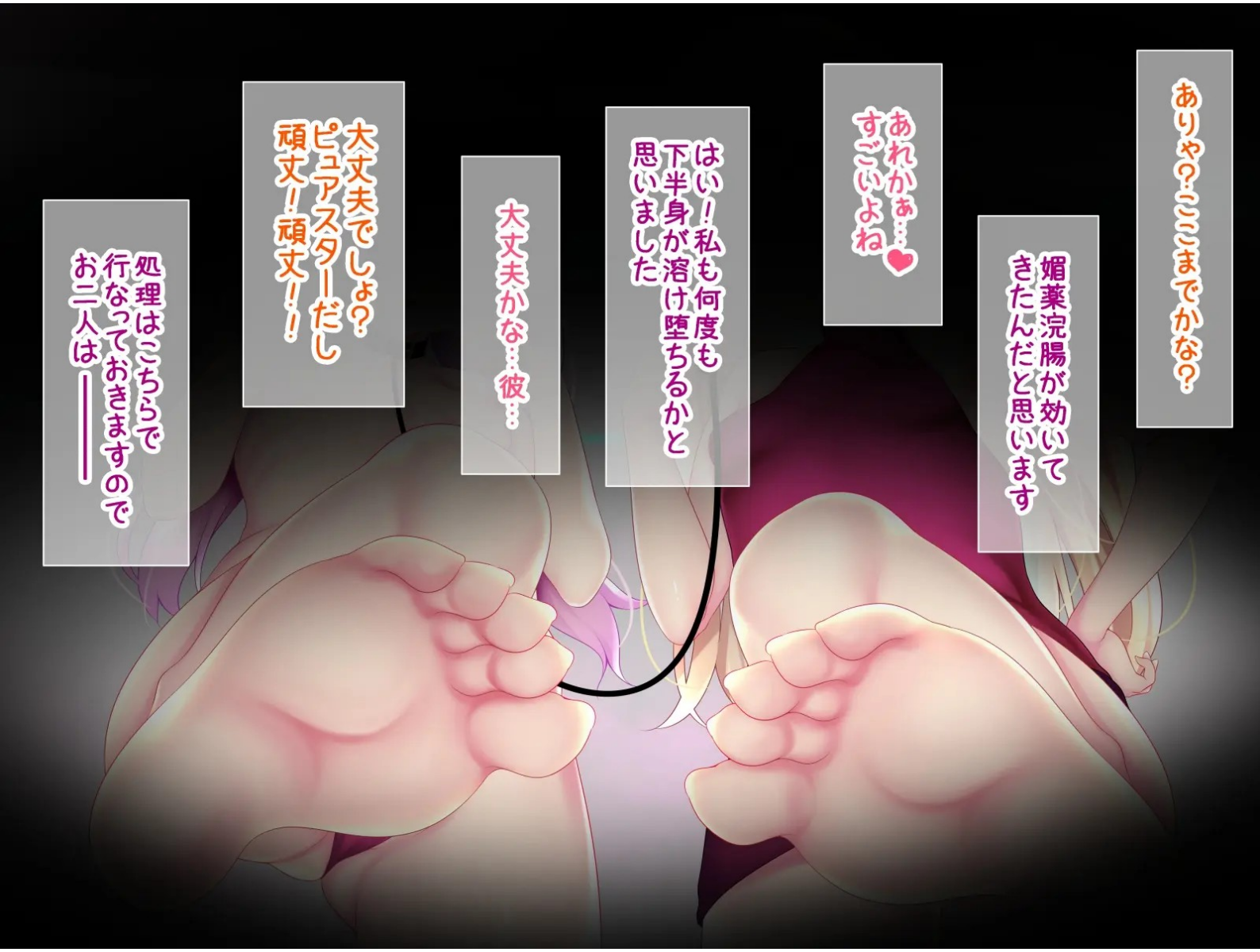



うわぁ～初日からまたやってるようしゃな～い
イエロー様！ピンク様！お疲れ様です！
仕方ないよイエローちゃんと教育しないと可愛そうな目に合うのは彼らなんだから
おわぁ
おわぁ

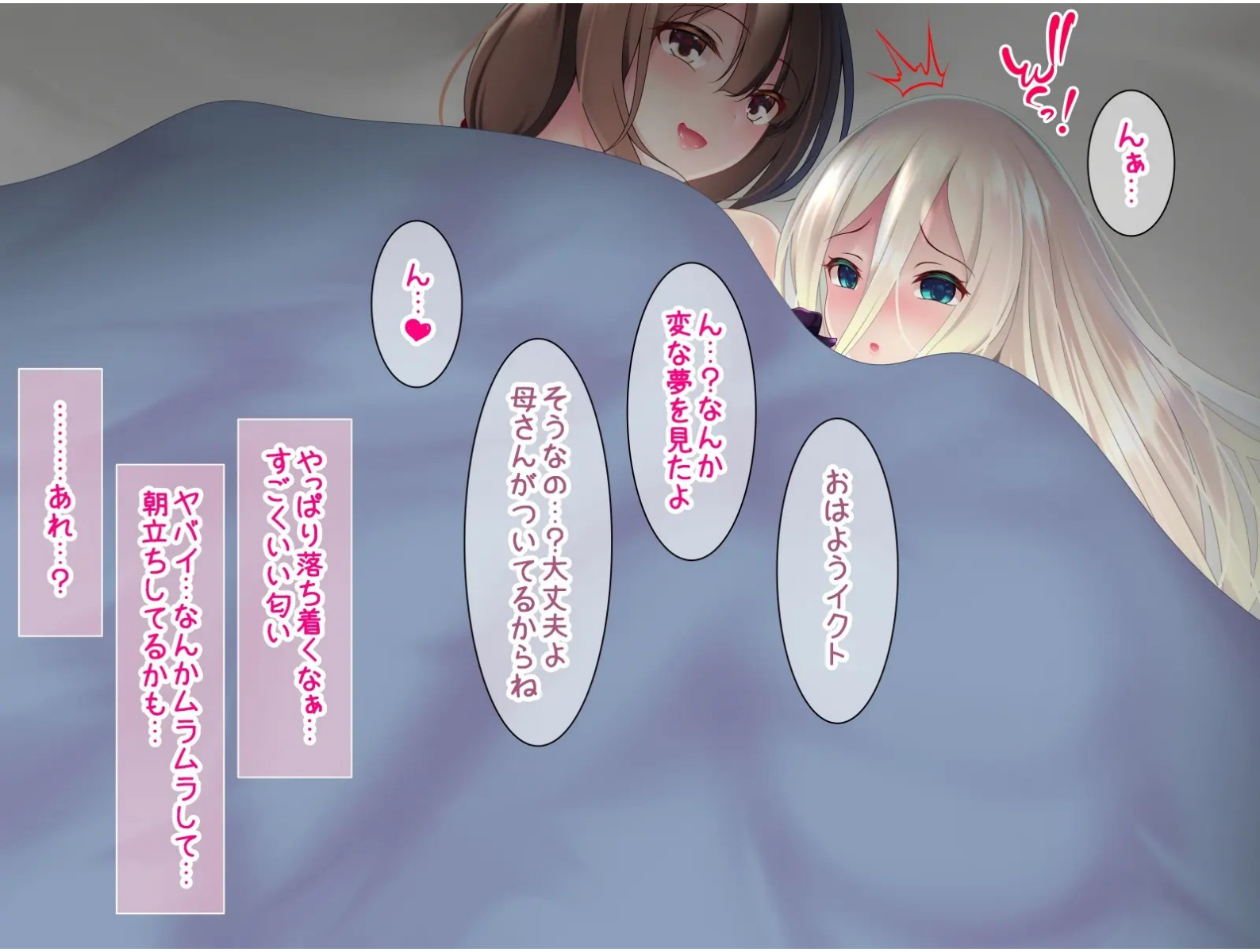

でも結構可愛い顔してるね♥
イジメたくなる気持ちもわかる♥
イエローはいつもそうやって…
なんだ…この人たち…
イエローとピンクって確か…
でも早いうちにマゾになる方が後々ラクだよ♥ピンクみたいに♥
ボクは…マゾかも…♡
そうだ…最初に裏切った人たちの名前…
この人たちが…なんで…


なんか下半身に視線を感じるね♡
とても熱い視線です♡
まだ心は男の子だから
仕方ないと思います
なッ！お二人の下半身を!?
私だって…ッ！…いえ
不手際を申し訳ありません
かまわないよ！
ボクは普段から
オープンだし
いえ！後で私のも
教育をお願いします！
仕方にゃいなぁ♥
なんで楽しそうなんだよ…
俺たちはこんなに
苦しんでるのに
助けてくれるんじゃ…
チュチュッ♡
チュチュッ♡


うりうり♥ここか？ここがイイんかぁ？
ひゃん…なんだこの状況は…
じゃあボクは小っちゃいおっぱいを♥突起が硬くて可愛い♥
やめろ…♥そこは…
あぁ！？ずるい…♥


ありゃ？ここまでかな？
媚薬浣腸が効いてきたんだと思います
あれかぁ…すごいよね♥
はい！私も何度も下半身が溶け堕ちるかと思いました
大丈夫かな…彼…
大丈夫でしょ？ピュアスターだし頑丈！頑丈！！
処理はこちらで行なっておきますのでお二人は――――


イクト…起きて…
もう朝よ
んぁ…♥いい匂い…
もうちょっと…
まだ眠っていたい…


んぁ…
んくっ!!
おはようイクト
ん…?なんか変な夢を見たよ
そうなの…?大丈夫よ母さんがついてるからね
ん…♥
やっぱり落ち着くなぁ…すごくいい匂い
ヤバイ…なんかムラムラして…朝立ちしてるかも…
……あれ…?

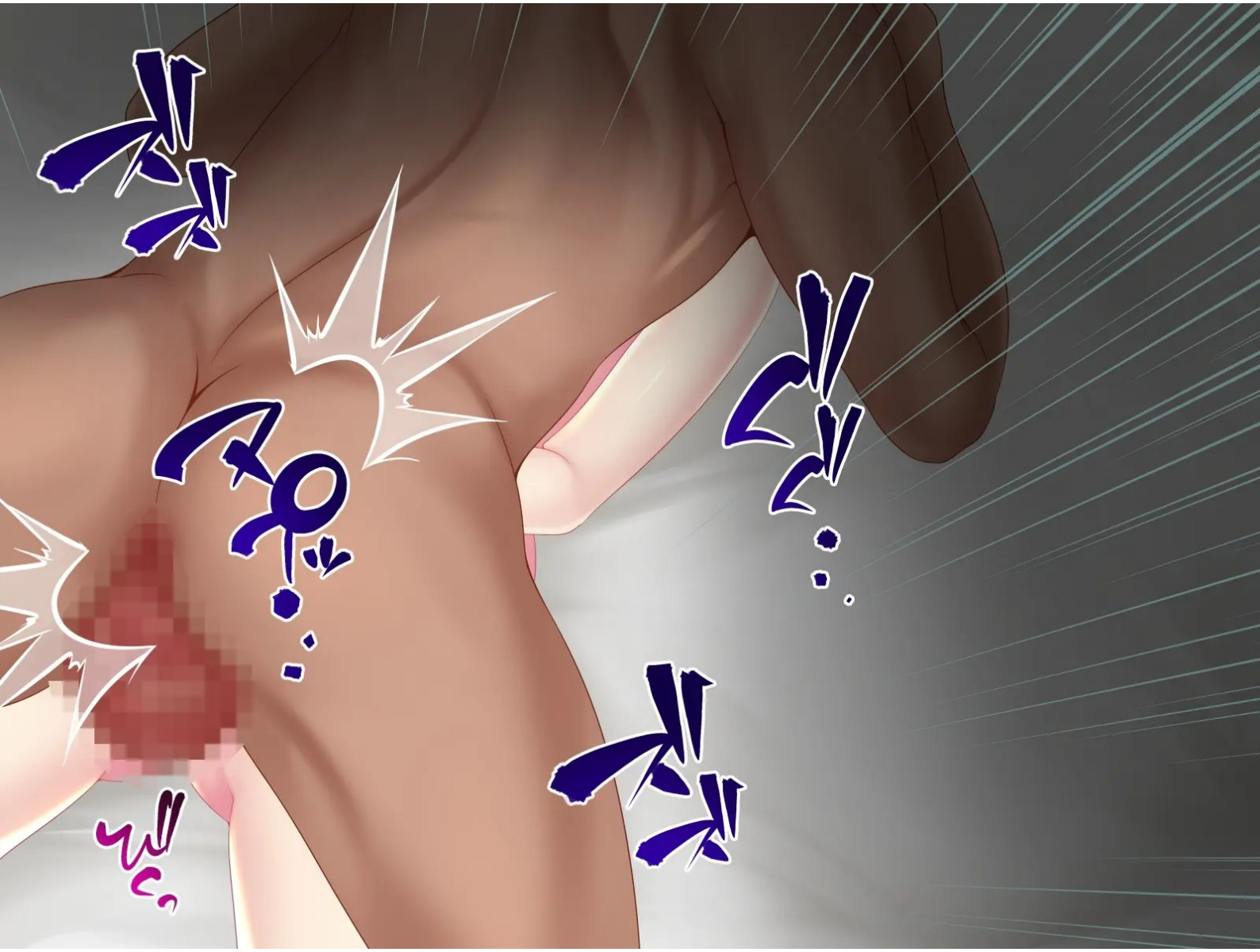

嘘!?ついてない!?
んっ!
きゃあ!もぉ…イクト?中で暴れないで
あ…うん…ごめん!
そうだ…俺…もう男じゃないんだ…
あ…アレ…?今…肌に触れた?
も…もしかして母さん服着てない?
まだまだ子供ねハグしてあげようか?
あーーっ!いいよいいよ!

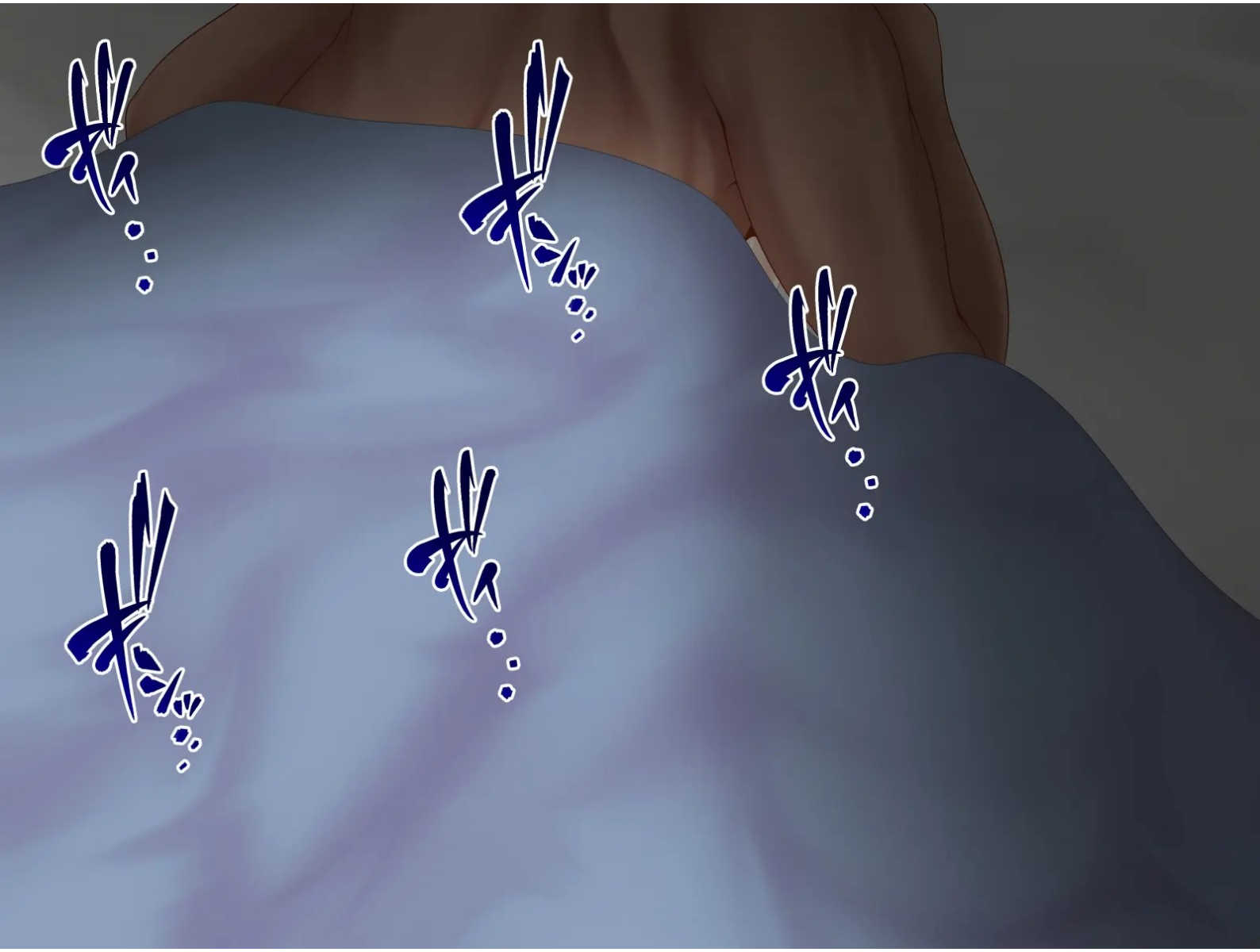

俺トイレに行ってくるよ
ドキ
ドキ
ドキ
行ってらっしゃい
母さんはご飯の準備でも
しておくわね
うわぁー♥
楽しみだなぁ！
一気に目が覚めた…
いろいろ嫌なこともあったのに
全部吹っ飛んだよ…
ちらっと見えたけど…
やっぱり下着すら
着けてない…？


相手は母さんだぞ！
最近はなかったけど
別に一緒の布団で寝たって
おかしくないし…
ドキ
ドキ
なんでこんなに
興奮してるんだよッ
ドキ
母さんだってひどい目に
あってるはずなんだ
じゃないとあんな恰好で
俺と一緒に寝るなんて…


ダメだダメだッ！
考えるな！
トイレで落ち着こう
ガチャン
そわ…
そわ…
ハタ
ハタ


ぱっ…
ぱっ…
くん…

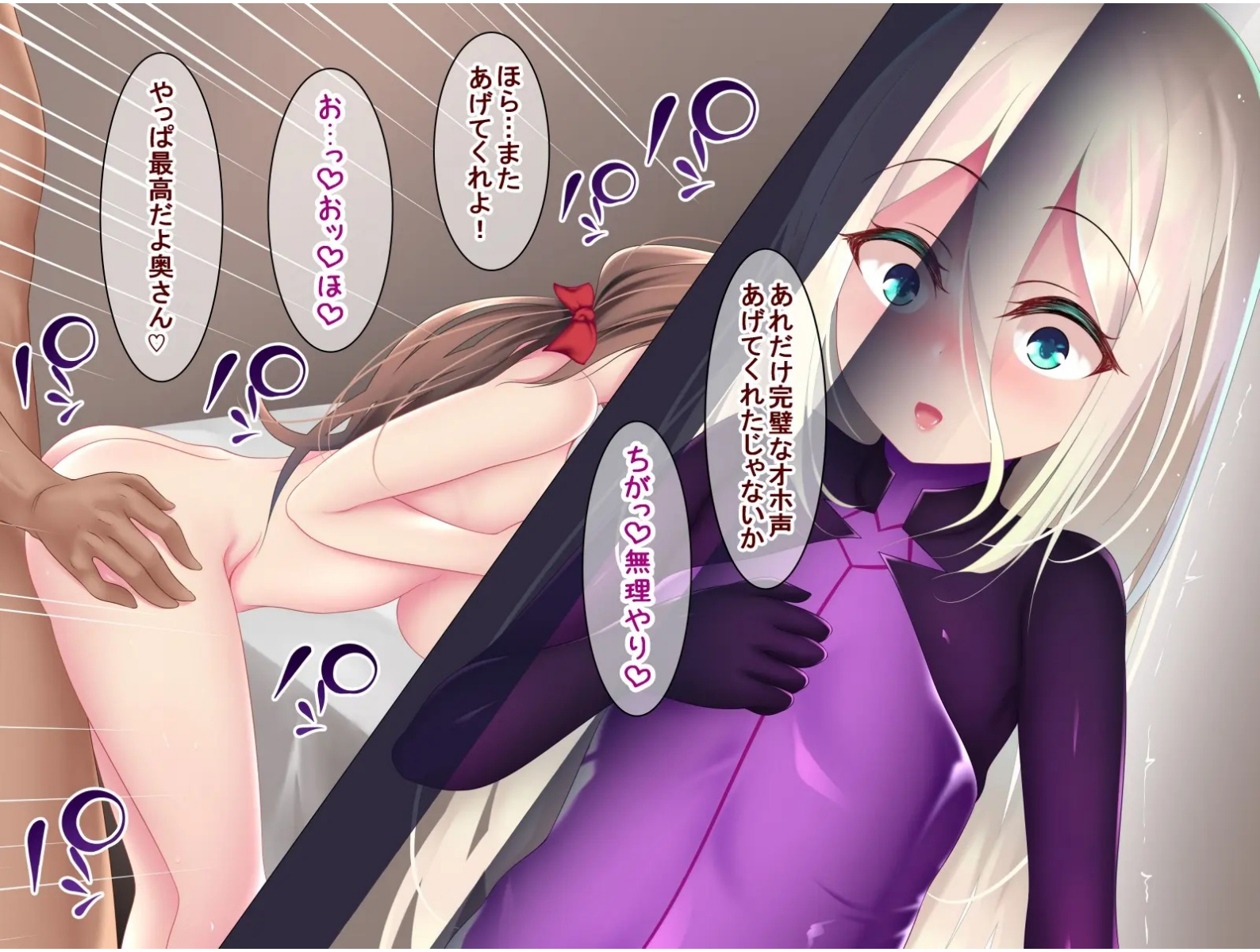





あぁ…くそ…
母さんにドキドキしちまった
ついてないのに立つ感覚が…ッ
ここに来て色々刺激されすぎてる
一発ヌキたい気分だ…
そういえばこの恰好じゃ
トイレ出来ないんだよな…
自分じゃ変身の解除もできないし…
転送排泄とか…
めちゃくちゃ恥ずかしい…
しかもこれ…記録を撮ってるのか？
俺たちにプライバシーはないのか…
どんな顔して母さんに会えば……
ルルルー
ヒィ
ンンンン
アン


は…え？なんだこれ…？
ドクン…
キィ…
待って！あの子が帰ってきますから…っ♡
見せつけてやればいいだろ？
そんなこと言わないで…っ！


あまりの状況に理解が追いつかない…
これは何が起こってるんだ？
もちろん自分のことを考えれば
俺のいないところでこんなことが
起きてることは想像できる…
しかし…目の前の光景は…
実際に見てしまうのは――
助けに入るべきか…ッ
いやぁ…♡そこっ♡
旦那のより気持ちいいだろ？
こんなに若いのに相手して
もらえないとは寂しいよな！
そんなことありません♡
でも俺の方が大きくて
気持ちいいって言ってくれたよな
ぱんっ


あれだけ完璧なオホ声あげてくれたじゃないか
ちがっ♡無理やり♡
ほら…またあげてくれよ！
お…っ♡おッ♡ほ♡
やっぱ最高だよ奥さん♡


でもそろそろ声を落とさないとガキに聞かれるぜ？
母さん…
えっ…？
あ…あぁ……
ち…違うのイクト！これはね…ッ
分かってる！大丈夫だから俺は母さんのこと大好きだから！
あ…イクト…
焼けるねぇ！


でも大好きなだけじゃ女は満足させられないんだぜ？
母さんッ！！
見ろよこの体！これで経産婦はないだろ！
おっ♡今は…♡ソコ…声が出ちゃう…っ♡
んっ
旦那さんの代わりに今度は俺が仕込んでヤルよ
あぁ♡ダメぇ♡


イクトッ！
見ちゃダメぇ！
なんだよ？大事な
性教育の時間だろ？
少年がどうやって
出来たか教えてやれよ
あ…♡やぁ…
くう……ッ
殴りかかりたいのに…
体が動かない…
多分あいつの方が
階級が上なんだ…


もう少し時間がかかるから
お前は外で待ってろ
う……くっ…
逆らえない…悔しい…
でもここでは何もできない…
母さんも逃げようとしない
きっと俺と同じで逆らえないんだ…
そうに決まっている…
エッチな声も…無理やりで
感じてるのも命令だ…
そうに…決まってる…
ぬるっ
ぬるっ
あぁっ
あ




それからしばらくして…
ようやく二人は部屋から出てきた…
母さんは…見るのをためらう色香で
俺の頭はくらくらした
ガチャッ
わりいな！ボウズ
いや今は牝もどきか！
つい楽しくてヤリすぎちまった！
ご…めんね…待った…？
むわぁ♡
怒っちゃだめだ…
仕方ないことなんだ…
大丈夫だよ！
お腹すいたなぁ！
ご飯にしようよ！


んあッ
お！いいねぇ！俺もヤリすぎて腹が減ったわ！精のつくやつ頼むぜ
……
そ…そうよね…準備しないとね
ここにはないから手配してもらわないと…
じゃあ今から行ってきてくれよその格好で…♡
ぱんっ
…ッ！？コイツッ！


母さん！その人には
ここの料理は美味しくないから
帰ってもらおうよ！
おいおい！
ママの料理が
美味しくないだってよ
スリスリ
え…そうなの？
あ…違う！
そう言う意味じゃ！？
くそッ！コイツ！
ふざけやがって…
そうじゃなくて早く帰れって
言ってるんだよ
ドクン
なんだ？ひどいじゃないか？
そうよ…
ひどいじゃない
謝りなさい！
えっ？


この人はね…牝の争奪戦で
私を勝ち取ったの
今はその報酬期間だから
つまり今は俺の女って事！
もちろんこれからもだけどな
あ…やん…♡
つまり邪魔者は
お前の方なんだよ
ダメよ…この子は
邪魔ものじゃないわ…
でも今は母さんも
やらないといけない
勤めがあるの
メスとして俺に尽くすって
おしごと♡
そうか…やっぱり
ここのルールで…っ
クソ…絶対助けるから…


俺のチンポに
完全敗北しちまってよ
あぁ…ガキのお前には
女がチンポに敗北なんて
言っても分からないか
あ…ここでは…
…ダメっ…ッ♡
お前にはまだ早いぜッ
まぁもうすぐ自分の体で
知ることになるんだがな

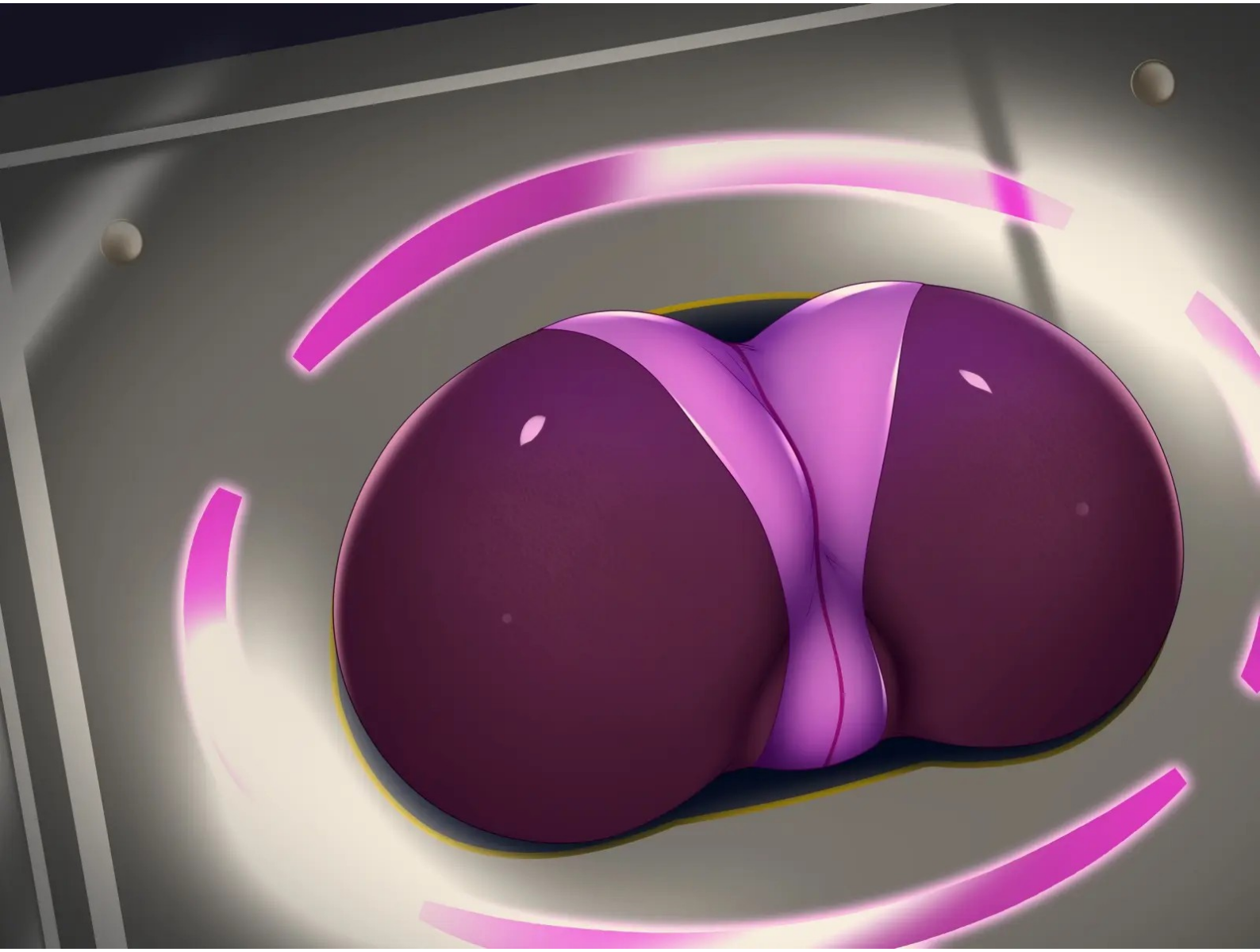

悪いなボウズ ここではダークネス様が正義なんだよ
俺はそのルールに従ってお前のかーちゃんをゲットした
文句があるならまずは名前でも貰うんだな
チンカス931
大丈夫よ！母さんそんなに弱くないからねチンカス931
え…？
どうしたの？そんな顔して？チンカス931？
底辺のマンコモドキなんて番号で呼んで当たり前だよな
うわぁぁぁぁぁぁぁッッ

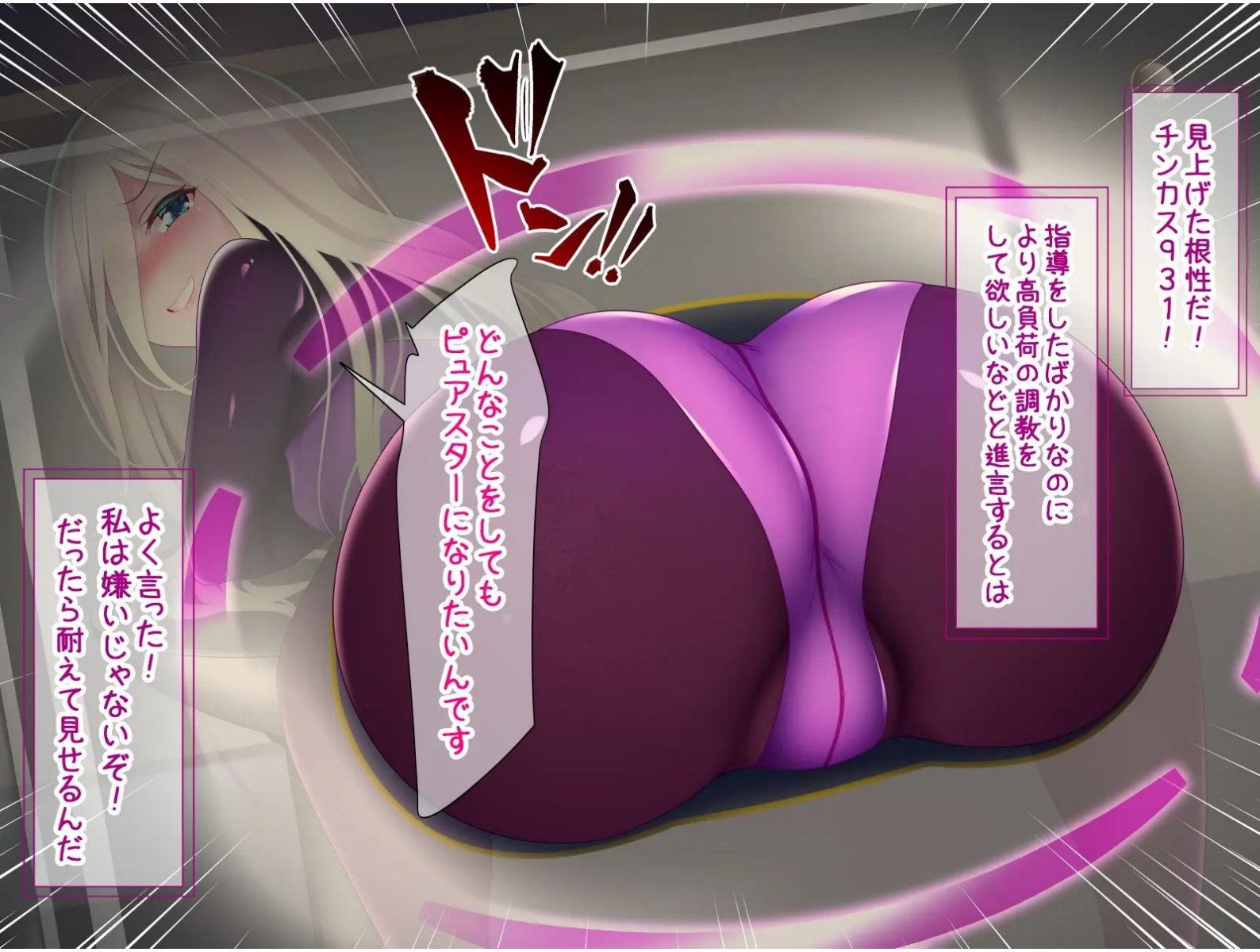

いいぜ…
のし上がってやる！
母さんを取り戻して
あのクソオスを怪物の
餌にでもしてやる

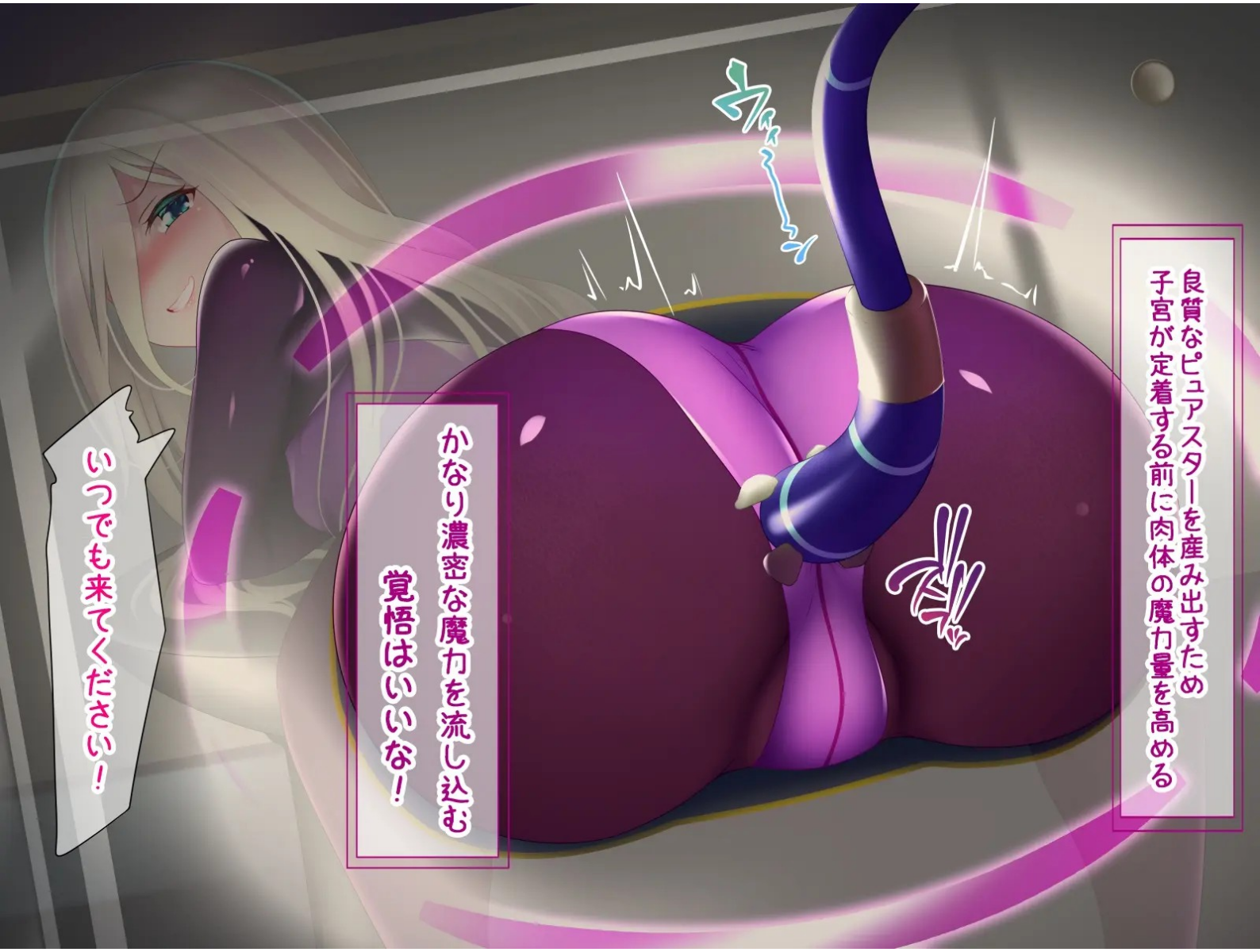

そのためなら
不快な命令にだって従う
牝マンコになろうが
関係ない

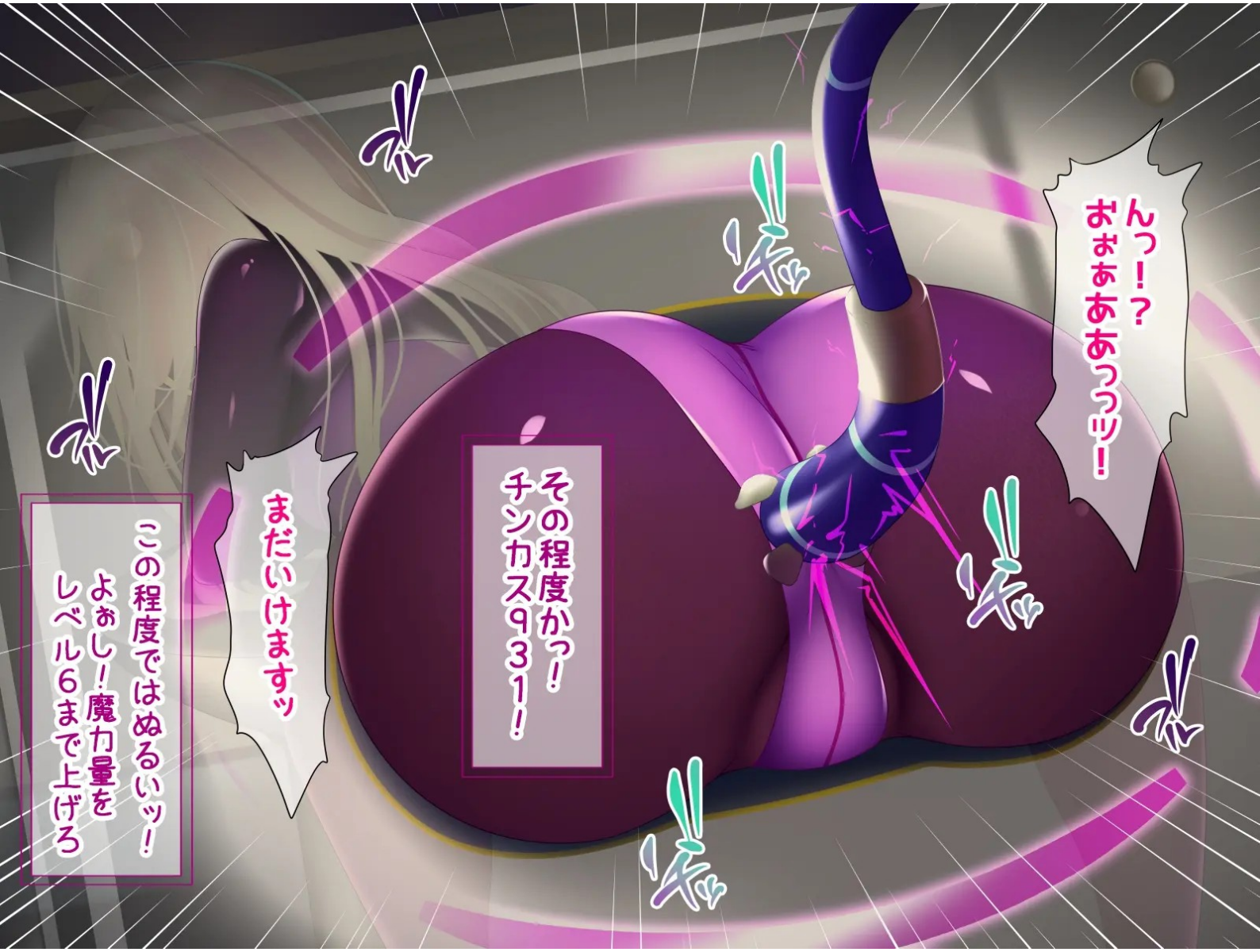

まずは魔法少女としての
価値を手にするんだ…
早く生理こい…

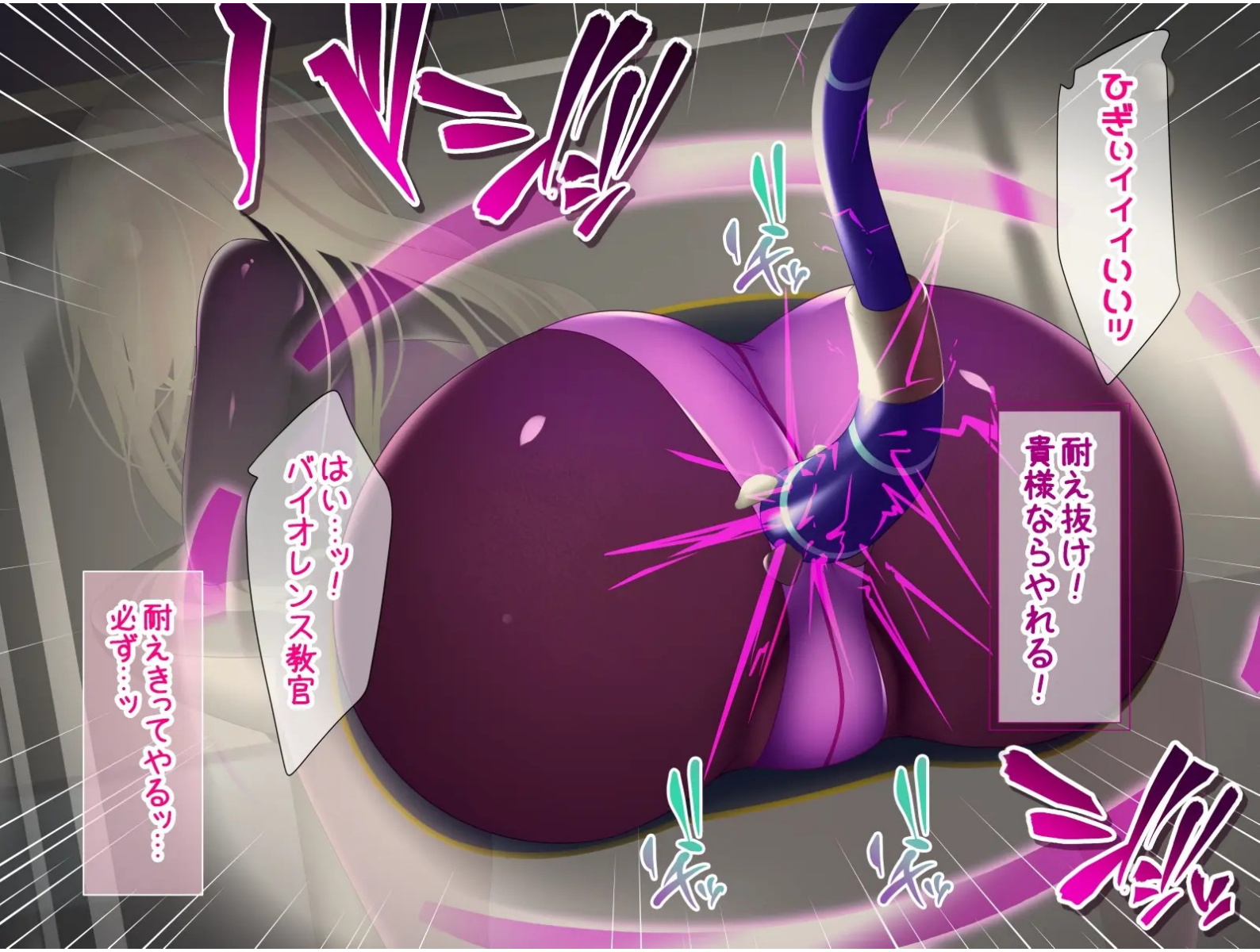

あんな奴に母さんを奪われた…ッ
ダークネスにとって
オスなんて不要なはずなのにッ
それどころか…
俺の名前まで奪って…ッ
俺はピュアスターだぞ…
俺の方が価値が
あるんじゃないのか…ッ
絶対洗脳か何かされてる…
じゃないとありえない…

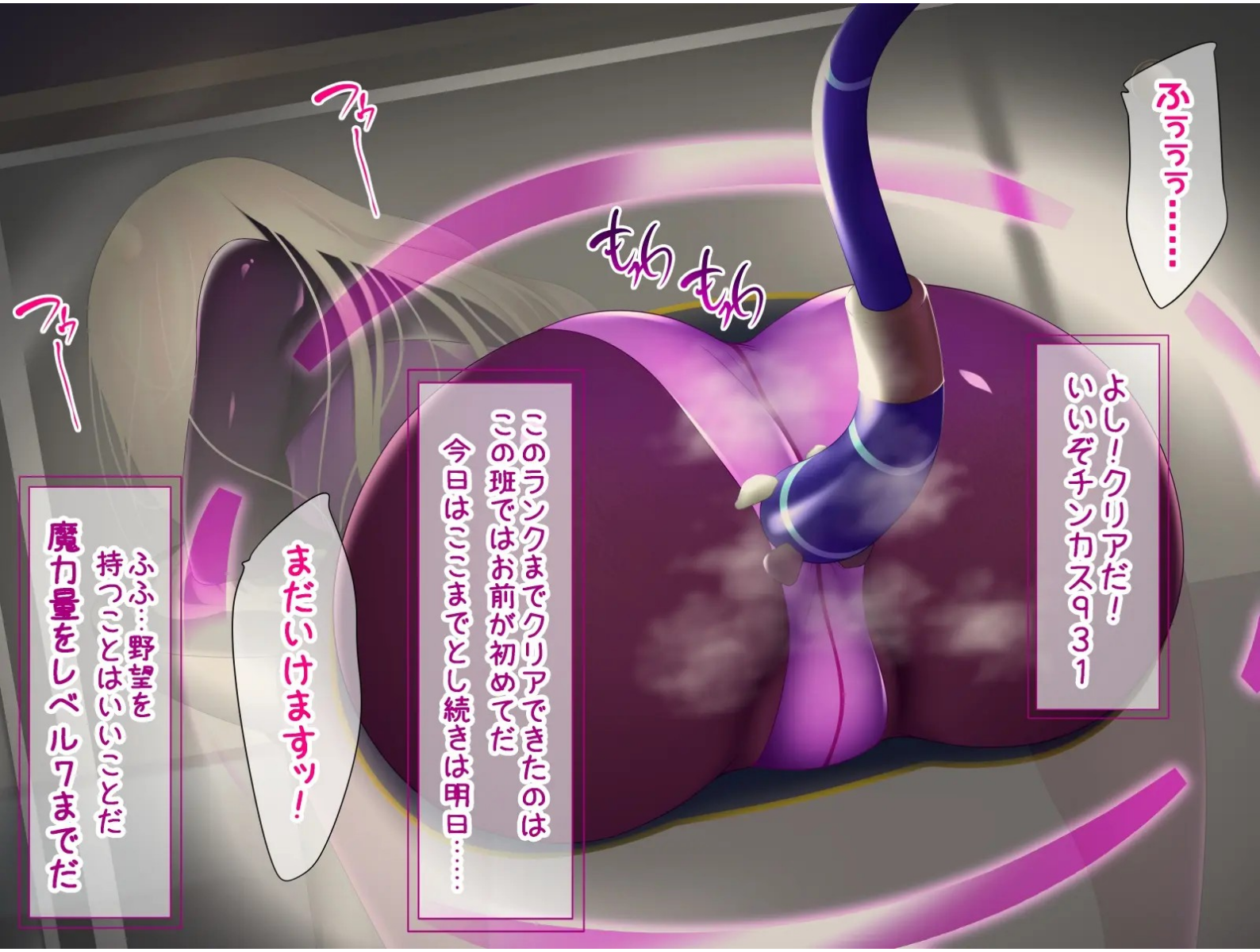


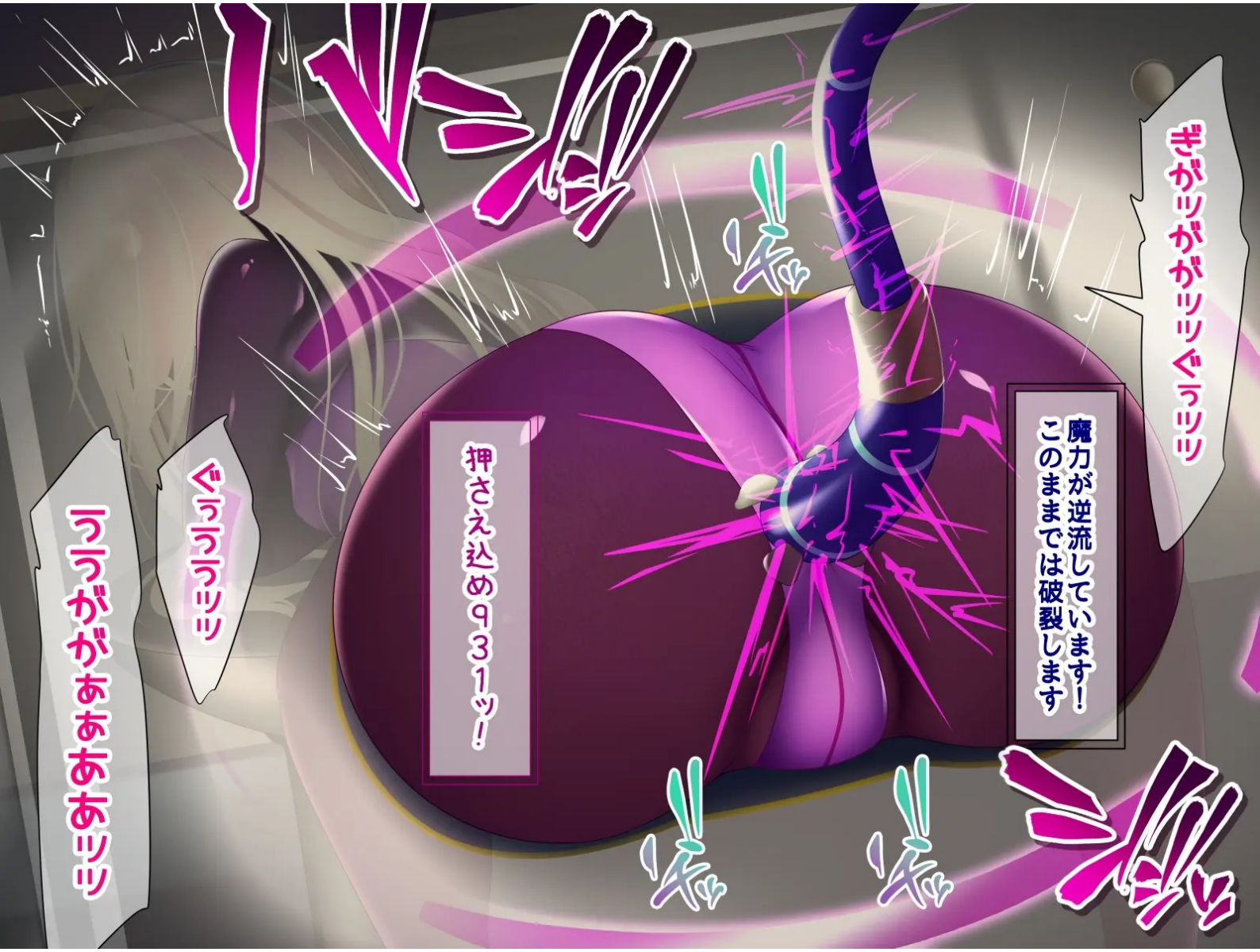

見上げた根性だ！
チンカス931！
指導をしたばかりなのに
より高負荷の調教を
して欲しいなどと進言するとは
ドン!!
どんなことをしても
ピュアスターになりたいんです
よく言った！
私は嫌いじゃないぞ！
だったら耐えて見せるんだ

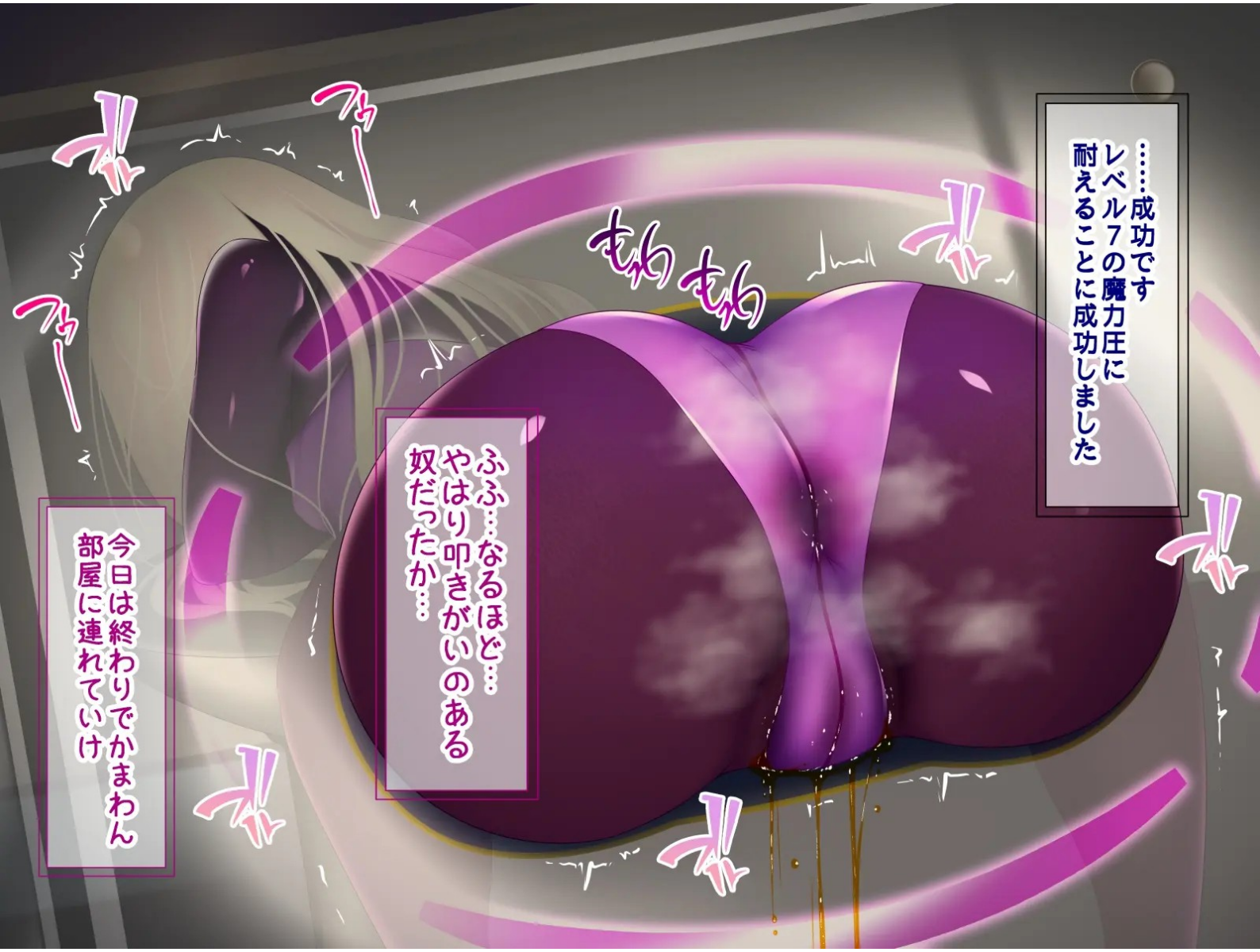

良質なピュアスターを産み出すため
子宮が定着する前に肉体の魔力量を高める
かなり濃密な魔力を流し込む
覚悟はいいな！
いつでも来てください！

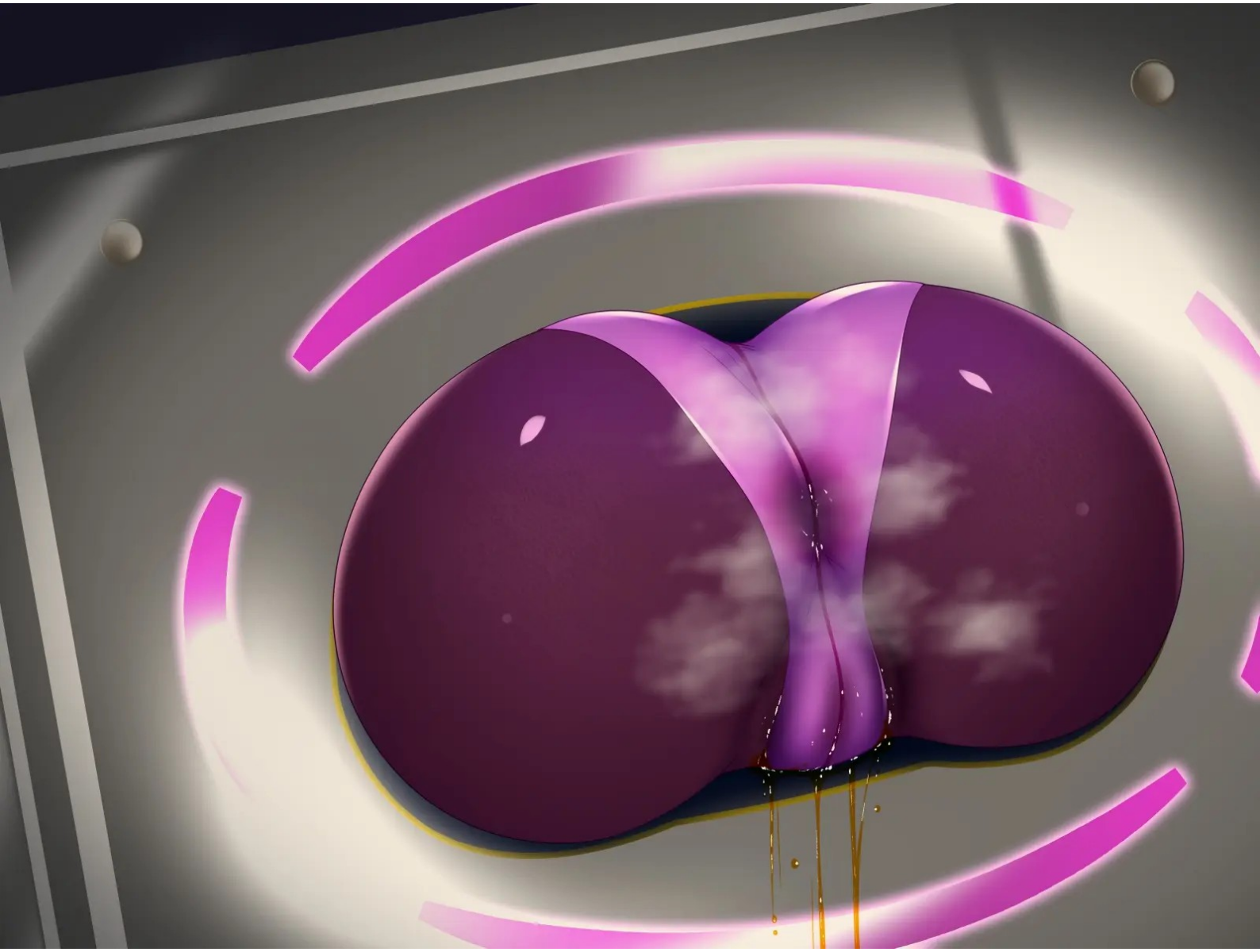

んっ！？
おぉぁあああっツ！
その程度かっ！
チンカス931！
まだいけますッ
この程度ではぬるいッ！
よぉし！魔力量を
レベル6まで上げろ


ひぎぃイイいいッ
耐え抜け！貴様ならやれる！
はい…ッ！バイオレンス教官
耐えきってやるッ…必ず…ッ

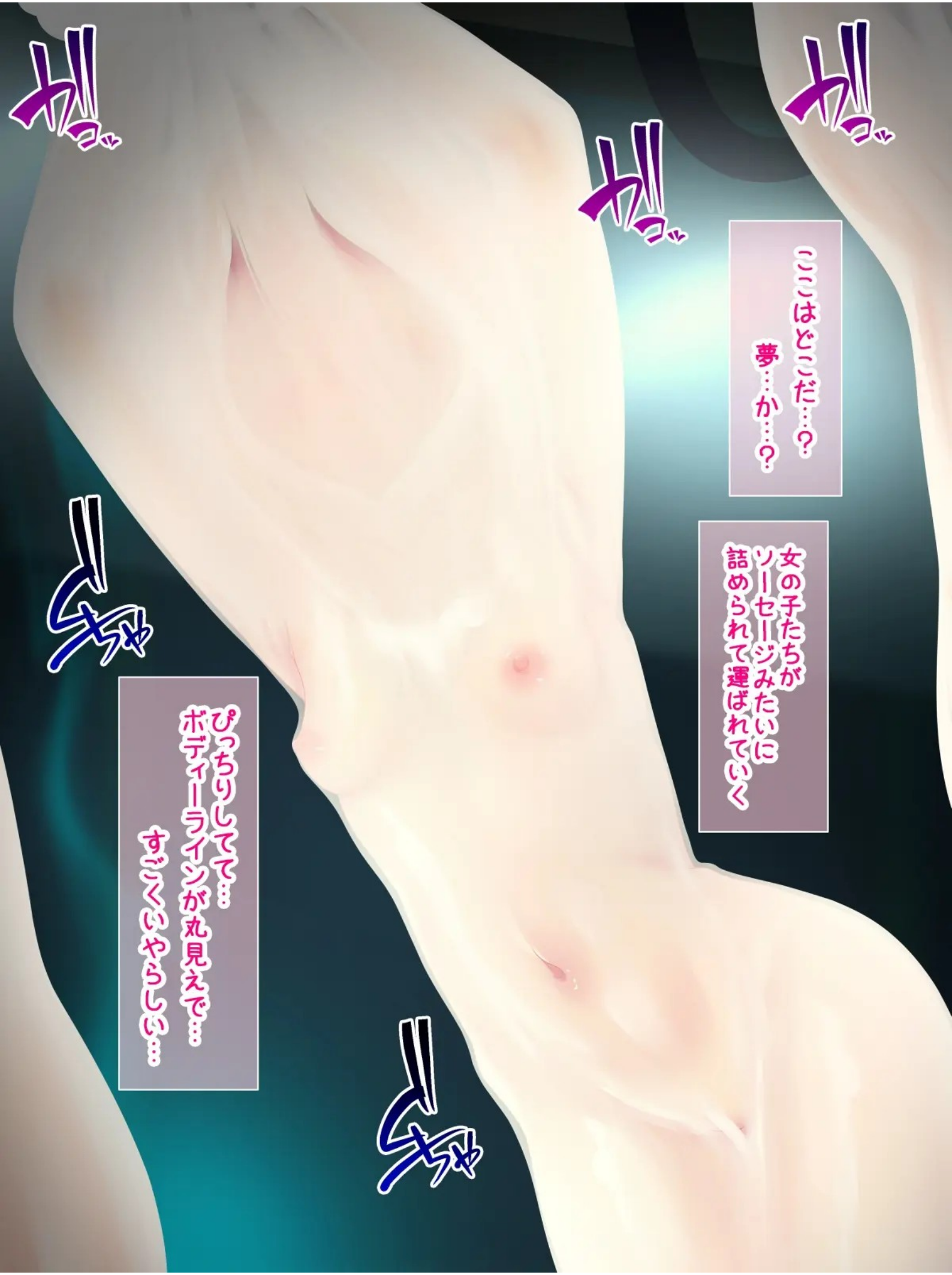

ふうう……
よし！クリアだ！
いいぞチンカス931
もわもわ
フゥー
フゥー
このランクまでクリアできたのは
この班ではお前が初めてだ
今日はここまでとし続きは明日……
まだいけますッ！
ふふ…野望を
持つことはいいことだ
魔力量をレベル7までだ


ギガツガガツツぐっツツ
魔力が逆流しています！
このままでは破裂します
押さえ込めｏ３１ッ！
ぐぐぐぐぐぐ
ツツツツツツツツツツ


……成功です
レベル7の魔力圧に
耐えることに成功しました
ふふ…なるほど…
やはり叩きがいのある
奴だったか…
今日は終わりでかまわん
部屋に連れていけ




あの日から…俺は母さんに会えていない…
その代わり部屋に戻るたびにパンツがおかれている…
最初は野暮ったい女性が普段穿くようなタイプだった
それが甘い香りの大人の女性が穿くようなエッチなのに変わって…
最近はそれがすごく汚れている…
考えるな…考えたくない…あいつが言いたいことを理解したくない…
こうして僕は余計にイライラする
ん？
さらに今回は別の物が一緒に置いてあった…
書かれていたメッセージは…『ママが毎日飲んでる精子のお裾分け♥』


ここはどこだ…？
夢…か…？
女の子たちがソーセージみたいに詰められて運ばれていく
ぴっちりしてて…ボディーラインが丸見えで…すごくいやらしい…


これ…もしかしてコンドームか？
あぁ…そうか…あんなもの見たから…
食肉加工場みたいにコンドームに詰められて…
食べられるために連れていかれるんだ…
こんな風になったら逃げることもできず助けも来ない…


はは…しかも…
よく見たら俺じゃないか…
いつの間にか
ちゃんと女の子になって…
こんなの…本当の
俺の体じゃないのに…
見るなよ…っ
俺は違う…


やめてくれ…っ
そんな高い声を出すな…ッ
んみぃ～～っ
ビクッ
違うっ！俺は
そんな声出さない…ッ
ビクッ
やらなきゃいけないことを
しているだけだ！
俺はメスになんてならない！
……誰みたいな？


母さんみたいな
オスのおちんちんに
媚び売ってる牝の事？
あ…ッ！？
俺はなんてこと考えて…
チンカス931？
違うッ俺はイクトだッ
母さんはそんなこと言わない
チンカス931♡
オマンコ♡
女の子♡
パンパン♡
パンパン♡
くちゅ♡
くちゅ♡
やめてくれ…っ


ぬぅん
ぬぅん
ぬぅん
ぬぅん
ぬぅん


ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ


ちゅこ♡
嫌な夢を見た…
母さんがあんなこと
言うはずない…ッ
ちゅこ♡
不安になったらダメだ
きっと元通りになる
ちゅこ♡
ちゅこ♡


ピュアスターになるために
耐えて…耐えて……
耐えて
いつになったら
母さんを取り返せるんだッッ


こんなことを何度も何度もッ
くそおおおおッ!!


ドロ
ッ
ぬぬぬ！


ちゅこ♡
ちゅこ♡
ちゅこ♡
ちゅこ♡


ようやく…ここまで来た
お願いします…
どうした？お前が望んでいた事だぞ！
喜べチンカス931
ようやくピュアスター（と
覚醒の時だ


陰鬱なのだな…
分かるぞ…
私も初めての生理の時は
そうだった…
だかそれを
乗り越えたとき私と同じ
ピュアスターとしての
道が開く
お前の卒業を
私が見ている！
女の子になるんだ！
ゴールに近づくと急に不安になる
もう…手遅れだったらって


ヒクヒク
うぐぅッ!?
お腹の中で…
魔力が暴れて…ッ
このままだと
噴き出る…ッ
違う！取り込むんだ！
自分の力にするイメージで！
ひっひっふーだ！
ヒクヒク
ひっひっふ～っ
ヒクヒク


ビクビク
ヒクヒク
ちゅぐ
ちゅぐ
ちゅぐ
子宮が脈打って…
外に向かって…すごい♡
道を開いていく…ッ♥
ワレメが♡潜り込んで
迎えに行ってる♡
掘り起こされて…繋がる♡
貫通するっ♥♥♥


すぅん
くぁぁ……♡
おお♡子宮が入口と繋がったみたいだな！
マン肉が膨れ上がり立派な縦スジが出来ているぞ♥
すぅん
これで貴様はチンカスからマンカスに昇格だ
昇格……ついに底辺からランクアップ…
むにっ
むにっ


これからはこのマンコを使って奉仕を行う
どうだ？初めてのマンコの感触は？
ピリピリします…♡
そうだ！素晴らしいだろう？
いずれはお前のマンコランクも測って貰えるだろう
名前を貰い一緒に働けること期待しているぞ
ぷにぷに
ぷにぷに


コンコン
入りなさい
失礼します
ガチャ
マンカス931…です
ピュアガード様
ええ…昇格おめでとう
ぐっと
ぐっと
ぐっと


分ってると思うけど
ここに呼んだのは慰安任務を
してもらうためよ
はい…理解してます…
ピュアスターとなるために
誰もが通る道
ピュアガード様も？
私たちの世代はもっとひどかったわ
今はシステム的に管理されてる分
ぬるいくらいよ
そのせいで粗製しか
生まれてこないのかしら？


失礼します
お？来たか931
今はマンカスに
なれたんだってな
はい…♥ご主人様♥
ヘヘ…
ズクン
ズクン
ズクン
そわそわ…
くそッ…なんで
奉仕の相手が
よりによって
コイツなんだよ
男は他にもいっぱい
いるはずなのに…


今日は新品マンコにて
ご主人様のおチンポを
お掃除させてもらいます♡
あぁ♡かーちゃん同様
俺のチンポを磨いてくれや
くそくそくそっ
マジでかみ切ってやりたいッ
デカすぎるだろ
しかも俺初めてなのにっ
処女の女の子って
こんな気持ちなのか…っ
ぴとん
ぴとん
ぴとん
ぴとん


近くで見るなッ
鼻息が当たるッ！
縦スジぷにマンコか♡
美味しそうなメスガキだぜ
くそッ鳥肌が立つ
なんだこの感じッ！
まぁ挨拶はこれぐらいで
ベットに行こうぜ
そこじゃ触れないだろ？


ようやく女の子になったないや～役得だぜ…♡
初めからお前まで食う予定だったからよ
あ…りがとうございます…
別に恨み言を言ってくれてもいいんだぜ？
お前のかーちゃん食った時もさんざん抵抗されたのをチンポで黙らせて俺なしじゃダメな体に作り替えたからよ
ぐぅぅぅ…
くんくん
はぁはぁ♡


母さんは無事なんだろうな…
当たり前だろ？俺の女なんだから
お前の女じゃねえ！勝手に自分のものにするな
怒んなよ！でもそれはお前が女を分かってないからだ
教えてやるからよ？そしたら母親からメスになった理由も分かると思うぜ
黙れッ俺は命令で股を開いてるだけだッ！それ以上の感情なんて生まれない


そうそう！そういうのがいいんだよ…♡
しっかりオスの好みをとらえて上手いなぁ♡
んっ…
クソ…そんなつもりじゃ…
ここの食い込みもさっきからオスを誘いすぎだろ
やわらけぇ♡期待しすぎ♡
そんな訳あるかッ
じゃあ確認するからスーツの解除頼むわ！


ドクン
あぁ!?くそっ…!
勝手に解除されるっ!
ドクン
見られる…ッ
オスに…ッ!
ドクン
ひゅ~っ!
ロリの縦スジ御開帳♡
自分じゃ見たことないんだろ?
しっかり見ろよ
黙れっ!
実際どうよ?メスになって?
体中に快楽スポットが出来て
大変なんだろ?
俺には適性がなくってよ?
残念だったな!
ピュアスターになれなくて!
ほら!早くクパってみろ


おやぁ？湿ってるようだが？
はん…ッ
こんなの生理現象だ
俺はちっとも
興奮してねえよ
残念だったな
あ～チンコイラつくぜ…
オスガキならぶん殴ってるが
メスガキならチンポで
分からせないとな♡
お前だって分からされる
イメージくらいあるだろ？
……ふん…っ
こぱぁ♡

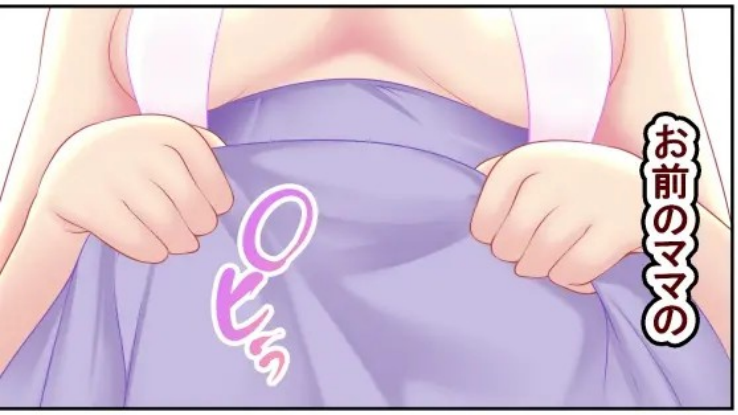

まだオナニーとかシテないんだろ？
ん…くっ♡
これからお前の新品マンコが食われるんだぜ？
んっ～～っ♡
想像しろよオスにモノにされる自分の姿を
女の子のココが蹂躙されてナカまで入ってこられるんだ
くぱぁ♡
くそくそくそっ顔に出したらダメだコイツを喜ばせるな…ッ


コンコン
んん？誰か来たようだが？
えっ？
ふふ♡ゲストの到着のようね♡


盛り上がってきたみたいだし
そろそろメインディッシュに
移りましょうか
『ピュアガード』
さあ♡入りなさい

失礼します…♡
母さんッ！
あなたも気にして
いたでしょう？
母親が今どうなってるか
見せてあげなさい


待てッ！？
おっとッ!!
いいところなんだから
おとなしくしてろ
気になるだろ？
よ～く見とけよ


お前のママの


現在の姿を…♥
WC Free
便女
正正


きさまあああツツ
母さん！母さん！！
暴れんなよッ
この瞬間は最高っすね
陰茎がビキビキになる
初物いただきぃ！


おらッ
マジでキツキツだッ
でも中はしっかり濡れてるッ
かーちゃんの痴態を見て
コーフンしたのか？
ふざけるなああッ
じゅく
じゅく じゅく


今なら身を持って分かる…
母さんが何をされてきたか
俺の中に入ってきてるコレで
ずっと穢されてたんだッ
どれくらいの回数？
どれくらいの人数？
あんな風になっちゃうくらい…


引き抜くたびに
吸い付きがすげぇ…
かーちゃんの方も子持ちのわりに
とんでもない吸い付きだったが
お前の方が勝ちだぜ
母さんと比べるなぁッ
比較するな！
母さんの体を思い出すな！
もっと俺が早く女になって
クソオスの相手をしていたら
優しい母さんの変わりができたら


くぱぁ
むわぁ
さっきから母親の下半身ばかり見て…
もしかしてあなたのパンティーに興味があるんじゃないかしら？
まぁ…♡そうなのかしら？
この年頃の子は牝のパンティーに興味深々でしょうし差し上げたら？
そうですね♡もう♡いけない子なんだから♡


どうだ？かーちゃんのマンコがオスチンポに征服された匂いは？
母さんの甘い匂いと女の蜜の匂いに混ざって…オスの精の臭いが浸食して…塗りつぶして…
むわぁ
くそッ…ッ鼻いっぱいにオスの臭いが広がるッむしろそっちの方が多いくらいだ…


安心しろ！
お前のここも
同じようにしてやる
ぐそお…くそッ
情けないのに…
抵抗できないと
理解してしまう
自分が悔しい…
俺の臭いしかしないメス穴にして
親子そろって食べてやるよ
力が…
力が欲しい


ペットみたいに完全に
おチンポに繋がれたわね
押さえつけられてないのに
おとなしくお尻を突き出して♡
可愛いワンちゃん♡
違うんだ…っ母さん…
見ないで…ッ
ベットに上がれ
もっとちゃんと
愛してヤル
牝穴に女の喜びを
教えてやるよ


かーちゃんに見てもらえよ！
女になった可愛いオマンコを
きゃあッ！
なんだよ
出せるじゃないか
牝臭い声！
やめ…見せるなぁ！
授業参観だろ？
オマンコ出来ましたって
報告しないとな

おチンポに奉仕できる立派なオマンコになれたのね♡
違うっ俺はオマンコになりたかったんじゃなくて…
母さんを…守れる存在に…
マンカスのクラスとしては十分な性能ですよ


あなた達を見ていたら
私もシたくなってしまったわ♡
ピュアガード様も
参戦ですか！
だったら俺のチンポで
三人のマンコを…
母さんっ
あまり調子に
乗らないで…
私の相手は彼女に
お願いするわ♡
まぁ♡ご奉仕しなくちゃ…♡


ぐちゅ
あひる開いちゃダメですの
ぐちゅ
やめへぇ…っ
ぐちゅ
先の穴がぁ♡
えへーバブチリー
ぐちゅ
そこはらめぇ
見えるのでしょっ
ぐちゅ
男を知ってるこにこにこ硬へて…
体ねの
ぐちゅ
うまひりそ


これ以上見せつけないでくれ
女の子のことなんて知りたくない
見られながら…
そんな激しく
揉まれたら♡
俺ももう女の子なんだ…
おちんちんの味が分かる体なんだ…
牝に染まる…俺も…母さんも…
父さん…俺に母さんを
守れる力をください…ッ


うはッ！
親子♡丼っ♡♡
ずぷん♥
ずぷん♥
く…ッ
こんなのダメだよ
母さん…ッ
うふふ♡
ツンツン♡
おっぱい♡
しっかり成長してる♡


くそぉあぁあっツ
また来たぁ…ッ
まんトロ
まんトロ
マンカス931号ちゃん♡
気持ちいいですか？
大丈夫ですよ♡
母さんが見てて
あげますからね♡
やめて母さんっ！
今は…ッ！
弱音をはいたらダメよ♡
いっしょにがんばろ？ね？


んあ♡私の中にも来たわ♡
子持ちにしては…ふっ中々のマンコですね♡
とても可愛い子でしょ♡
母さんは…俺が…ッ
こんなに母さん母さんって♡
最高のお子さんですよッ
ビュッ ビュッ
ドピュ
ドピュ


私の前で…こんな…すごい顔♡
余裕がないみたいね♡目の焦点があってないわ♡
あなたの声を聞かせてあげなさいよ
締まる締まるぅッ♡
うふふ♡まるで催眠音声みたい♡
マンカス931♡
マンカス931♡
マンカス931♡


おかしくなるっ
マンカス931♡
脳がかき回されて…酔ってるみたいにグラグラして…っ
マンカス931♡
声が…匂いが…快楽がぁ…♡
マンカス931♡
溶け込む♡俺の中に…浸透していくぅ…♡


エロすぎて精子押さえこめねぇッ！
俺まで催眠にかかったみたいにッ
あは♡すごい顔♡
激しいパンパンで
もう限界みたい♡
いいでしょう
射精を許可します
ありがたい…ッ
新品の牝膣を俺の精液で
穢しつくしてやるぜ

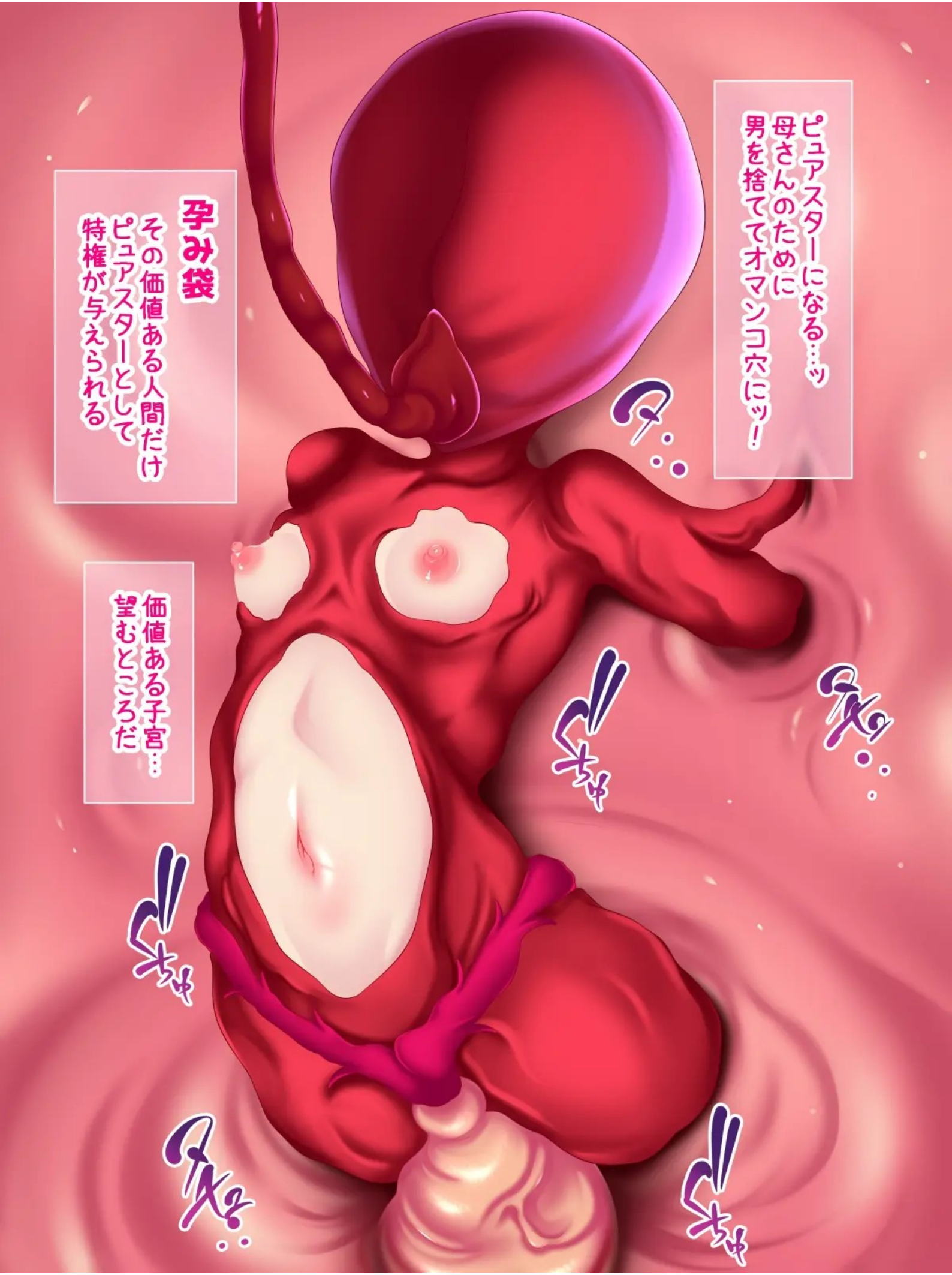

母親に注がれてるエロ顔見せつけてやれ！
おッおおいぐぅ♥
お腹が熱くてっ入ってるっ♥
お腹の中に精液入ってる♡
そうよ♥女の子はそこに袋があってオスのミルクを貯めこむの♥あなたもそうやってできたのよ♥
んぁ～
あっあっ

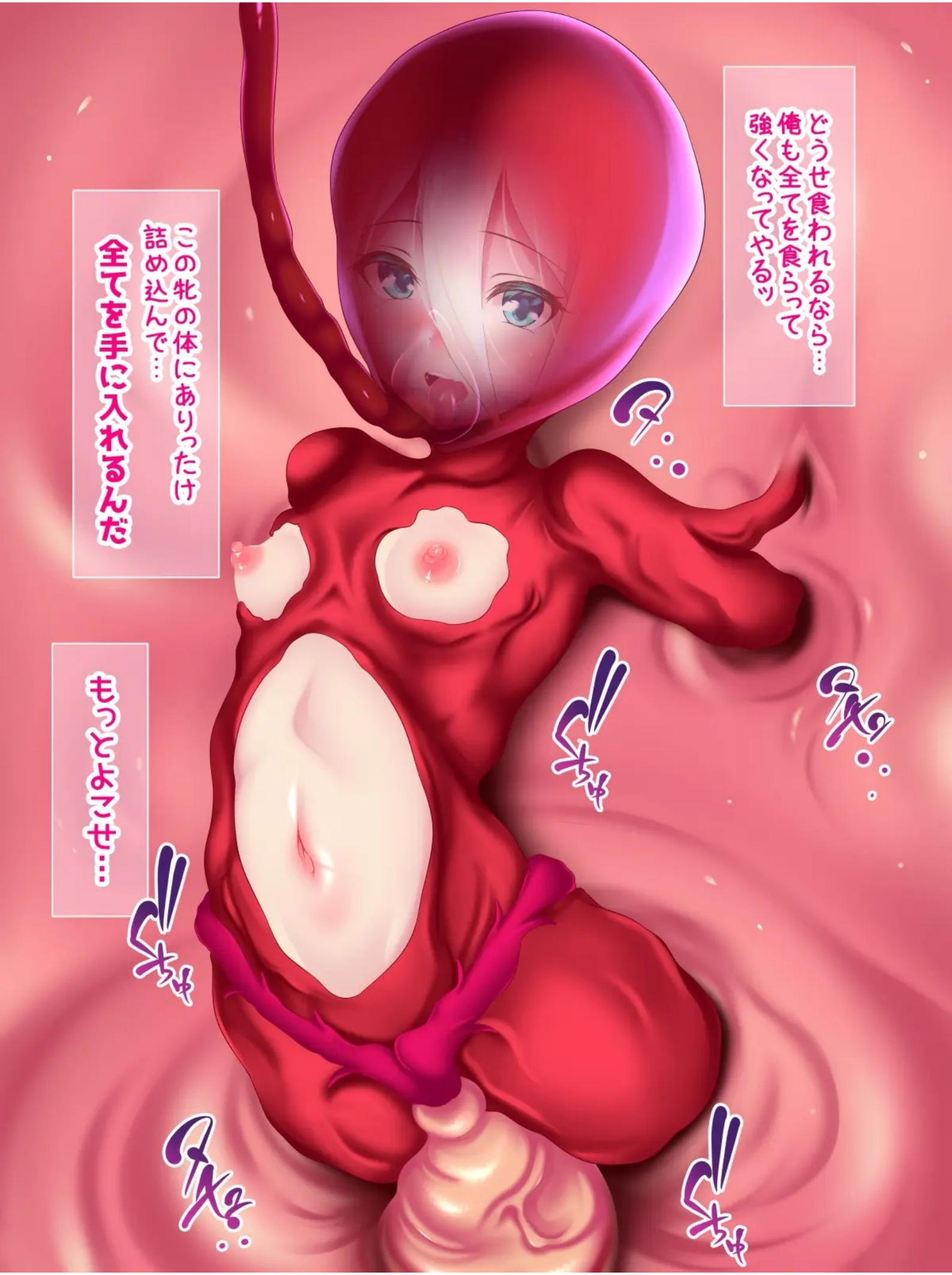

ふいぃ～いい汗かいた♥
まだヤレるんでしょうね？
もちろんですよ！俺の改造ペニスならあと数十発はいけます
ならいいわもっと犯して犯して犯しつくしなさい♥
まぁ♥まだ終わらないんですって♥お猿さんの相手は大変ですね♥

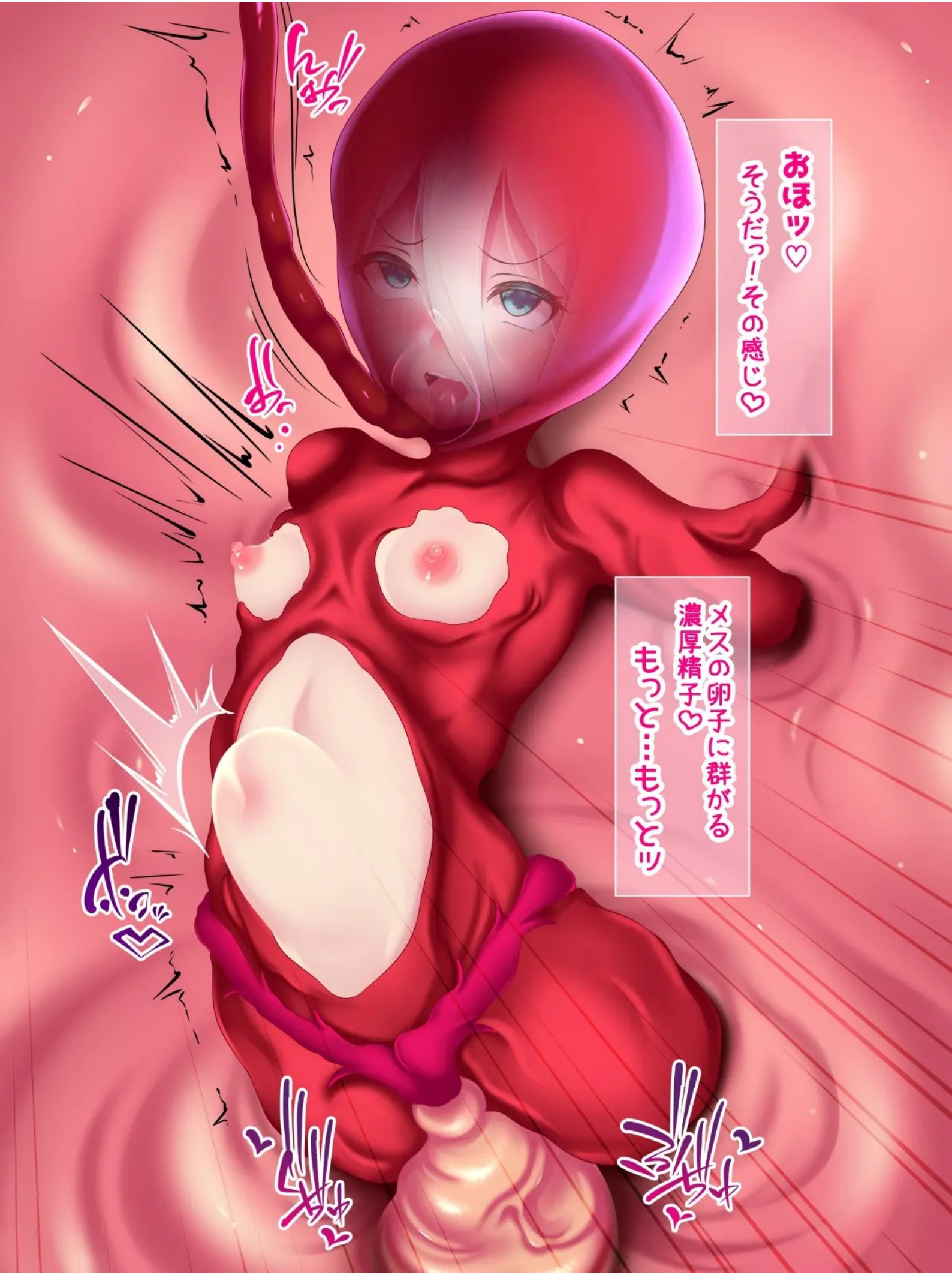

それからもセックス中
俺は母さんに煽られ続けた…
しびれるような声で…
情けなくて…
女の子みたいに
泣き叫んで…
でも体はずっと
気持ちよかった…
押えていたものを
吐き出せたみたいで…
気持ち…よかったんだ…


あぁ…俺…
完全にトイレだ…
こんな無様な格好で
何度も腹の中に注ぎ込まれて…
絶頂ウォシュレットまで
かましちまった…
ママの前で無様に
イッちゃったねぇ…♥
それどころか赤ちゃんが
出来る瞬間のイキ顔も
バッチリ見られたよ♥
久しぶりの家族水入らず
ゆっくりと過ごすといい
母…さん…
行きましょう♥
マンカス931号ちゃん♥

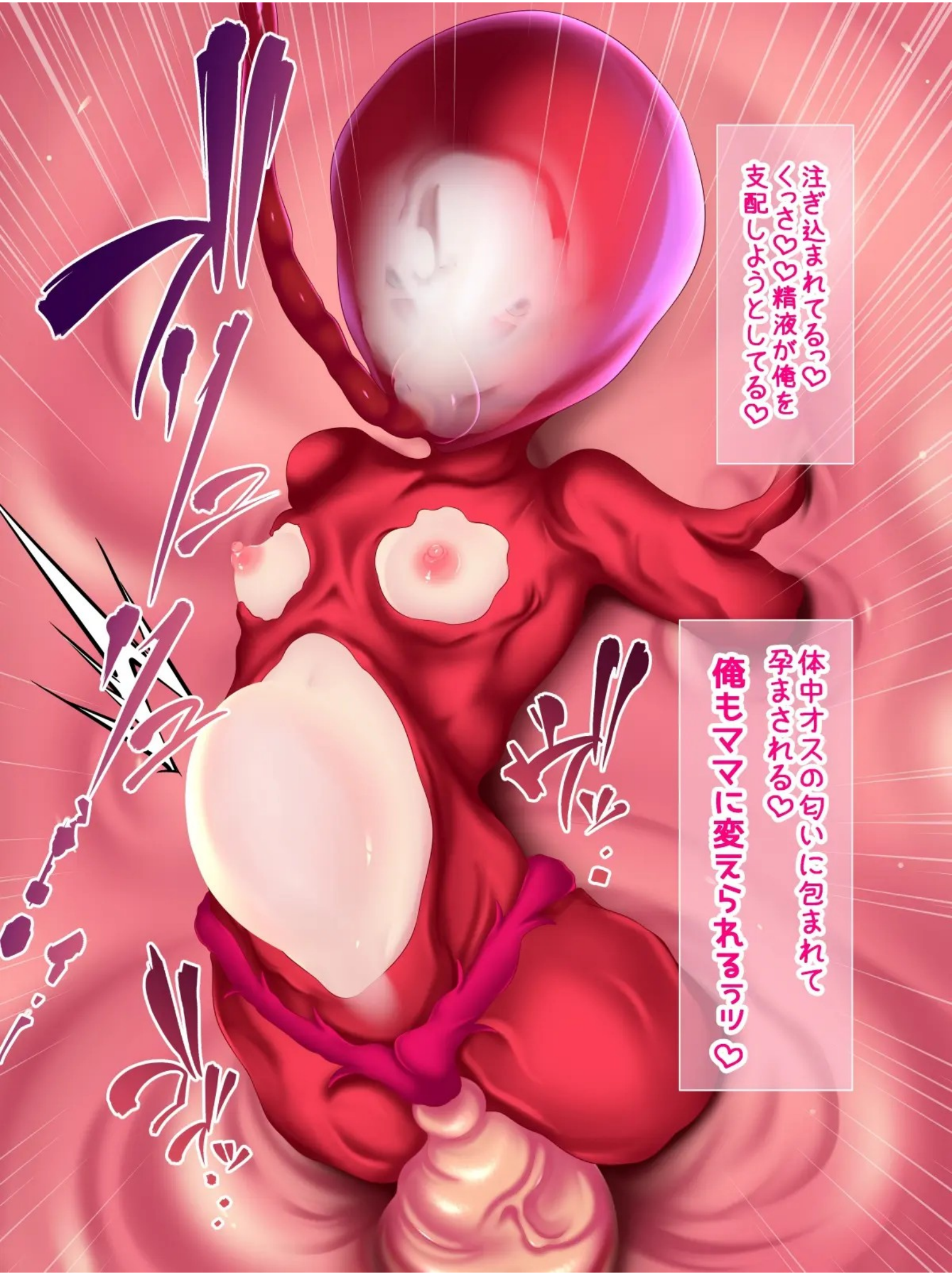

俺…変わっちまって…
母さんだって…もうきれいじゃないわ
そんなことッ！
それでも二人とも無事生きてる
大丈夫よイクトよく耐えたわね♥
あ……母さん
こんなに可愛くなっちゃって…
う……っ♥
これからどうしたら…
大丈夫よ…あなたならできるわ
力を全て注ぎ込んで…産むの
産む…俺が…？
ピュアスターになりなさい
正義の味方にはなれないかもしれないけどイクトにも守れるものはあるわ

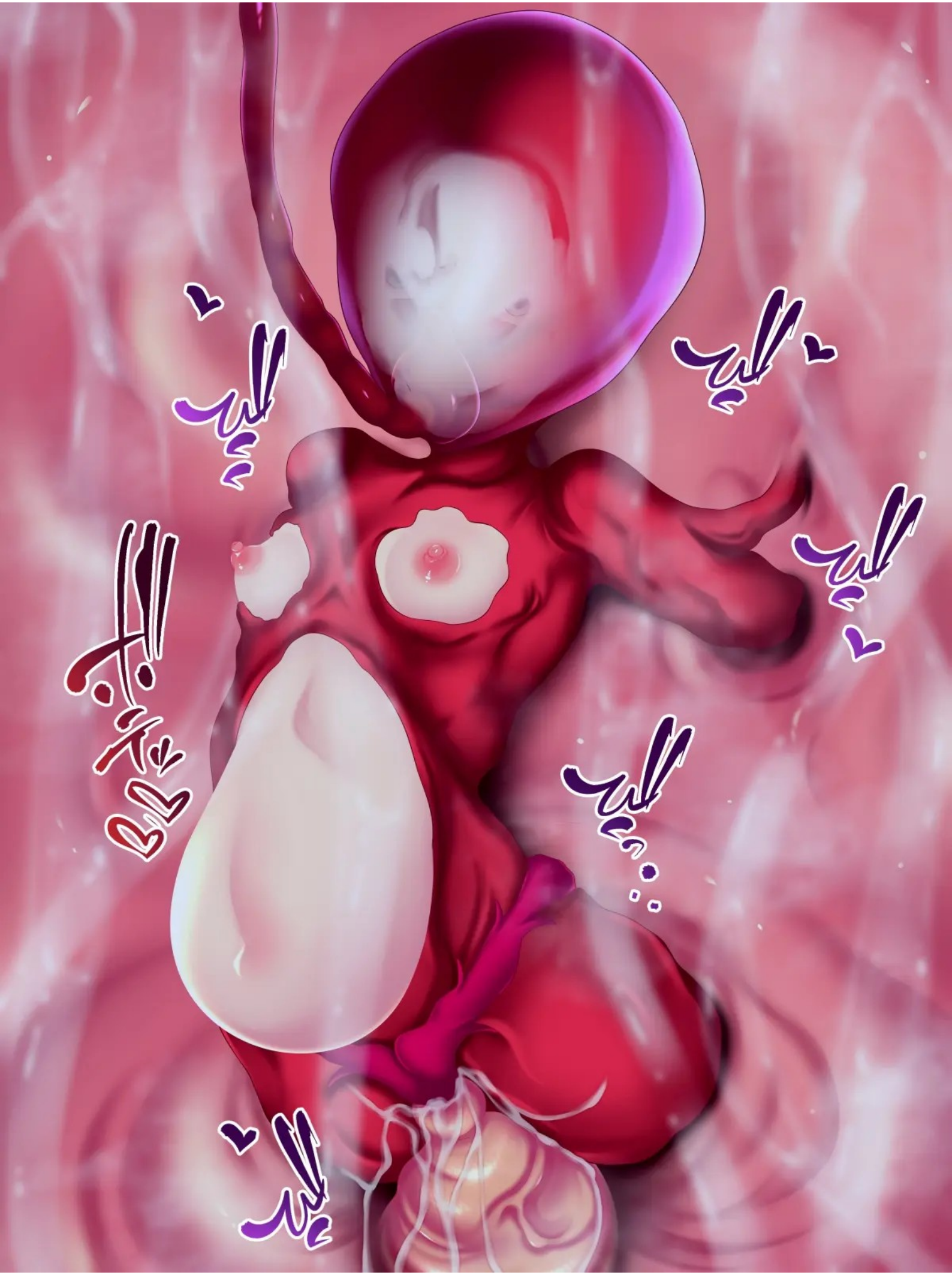

ピュアスターになる…ッ
母さんのために
男を捨ててオマンコ穴にッ！
孕み袋
その価値ある人間だけ
ピュアスターとして
特権が与えられる
価値ある子宮…
望むところだ


どうせ食われるなら…
俺も全てを食らって
強くなってやるッ
この牝の体にありったけ
詰め込んで…
全てを手に入れるんだ
もっとよこせ…


おほッ♡
そうだっ！その感じ♡
メスの卵子に群がる
濃厚精子♡
もっと…もっとッ


魔力で強化された
俺の子宮は
どんなオナホプレイでも
耐えられる
これがピュアスター♡
赤ちゃん錬金窯♡♡
この程度の腹ボコで
音を上げるなんて思うなよ
もっと気持ちよくしてみろ！
急にピストン激しくなった
んおおおおおっっほっ♡♡
んぉ♡
おっ…
んぉ♡
ぉ♡


注ぎ込まれてるっ♡
くっさ♡♡精液が俺を
支配しようとしてる♡
体中オスの匂いに包まれて
孕まされる♡
俺もママに変えられるぅ♡


ليب
ليب
ليب
ليب
ليب
ليب


ドヤ
魔力の高まりを感じる…♡
今なら生み出せる気がする
見せてもらおうかしら
あなたの力を
さぁイクト♡
あなたなら出来るわ♡
頑張って♡
見ててね♡
母さん♡
くぱぁ


ふっおおおっ
透…甲……
まさか…ここまで来て粗製なんて…
まだです…出来ますよねイクト♡
んおッお～～～
ぐっっっっっ～～～


これはッ!?
あなたの力を見せるんですっ!
まさか…本当にッ!?
おほぉ〜
んン産まれるぅぅぅ♡♡
でりゅぅぅぅ〜♡♡
OKAAAAA!!


…文句のつけようがないわね
これほどに大きな
虹色石を産み出すとは
立派なオマンコに
なったでしょ♡
あなたが正解でしたね
えぇ♡これは
ダークネス様に献上しましょう
きっとお喜びになるわ
あはっ♡俺はやった♡
これでピュアスターの仲間入り♡
価値あるオマンコに成れたんだ♡

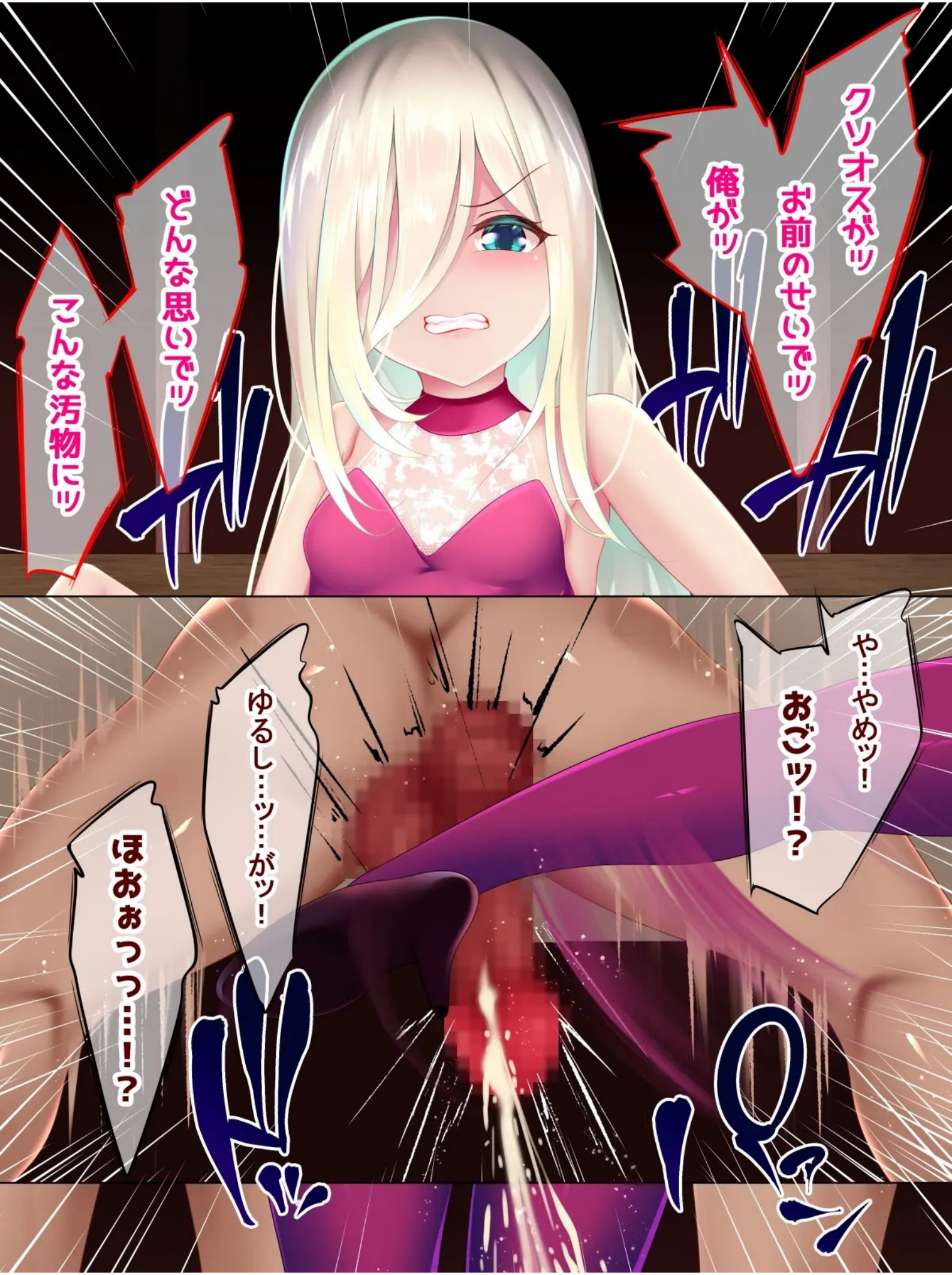

合格よ♥
マンカス931
ありがとうございます
あなたにはピュアイクシードの名前を与えるわ
あなたにはこれからも色々な用途で頑張ってもらうことになるわ♥
それでも上位の待遇が保障される
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ん…
マンカス掃除をさせていただきます
は…ぁ♥上手♥
あなたはこれから何を望むのかしら？
俺は…
クソオスに制裁を


『ピュアイクシード』
おら！クソオスども！食事の時間だ！
俺が直々に来てやったことありがたく思えッ！


ここはいつ来ても臭えな！
無価値なイカ汁垂れ流して
鼻が曲がりそうだ！
うぐぅ…許してください…
あぁん？なんだてめえ…ッ


俺たちもやるように命令されただけなんです！
ヤラなきゃ廃棄されるんだから仕方ないでしょう…ッ！
それで母さんを輪姦しましたってか！
さんざん味わい尽くしていい思い出来ましたありがとうございますってか！
それもこれも全部ダークネス様の仕業ですってか！


すぅ～～
ふざけたこと言ってるんじゃねえよッ
ドアアアアアアン
んほぉぉぉおおおおっっ!!!


クソオスがッ
お前のせいでッ
俺がッ
どんな思いでッ
こんな汚物にッ
や…やめッ！
おごッ！？
ゆるし…ッ…がッ！
ほおぉっっ…！？
ドン！


ちっ…気絶しやがった…
臭ぇ精液まき散らしやがって…
まぁ…今日の分はここまでにいいか…
俺はお前らと違って他にも重要な仕事があるからよ
足にまで付いちまったよ…きたねぇ…
暇になったらまた来るわ…♡


まったく…汚物ぶら下げたオスとか辞めて本当によかったわ
コレと同じになるとか考えただけでゾッとする
変なのプラプラせずに体の中に入っていく縦スジ♡
キツキツで包み込むおまんこという神秘の蜜ツボ♥
それに比べてピュアスターはホント最高の体だよな♡
抵抗してクソオス化する前にみんなピュアスターになればいいのに
あぁ…♡早くダークネス様に愛してもらいたい♡




あなたの提案で始めたママネトラレ脳破壊プログラムは最高の結果ね
新兵教育牧場の中でもあの子は最高の出来よ
ただの洗脳では粗製しか作れませんでしたからね
自らの意志で思いの力を増幅させようとすることが鍵でした
ママプレイはどうだったかしら
自分に本当に子供が出来たみたいで楽しかったですよ
まぁ…彼の記憶を少し弄ってしまったことは申し訳なく思います
『ピュアミラージュ』
使えなければ処分されるだけなんだから私たちのように
価値を与えてあげただけでも許してくれるでしょう